

事業計画及び成長可能性に関する事項

株式会社オキサイド

(6521 東証グロース)

2023年4月

目次

1.

企業情報

会社概要
経営理念
沿革
マネジメント・メンバー

2.

当社の強み

高品質単結晶育成技術
波長変換技術

3.

事業ポートフォリオ

4.

事業の概要

半導体事業
ヘルスケア事業
新領域事業

5.

M&A、 スタートアップ支援

6.


SDGs・地域共生

7.

財務・リスク情報

業績の推移
経営指標
事業計画
リスク情報

- 1 - 企業情報
- 2 - 当社の強み
- 3 - 事業ポートフォリオ
- 4 - 事業の概要
- 5 - M&A、
スタートアップ支援
- 6 - SDGs・地域共生
- 7 - 財務・リスク情報



山梨県の小淵沢にあった小さなプレハブ小屋。
そこが、オキサイドにとっての始まりの場所でした。

会社概要

(2023年2月28日現在)

会社名 : 株式会社オキサイド (証券コード: 6521)

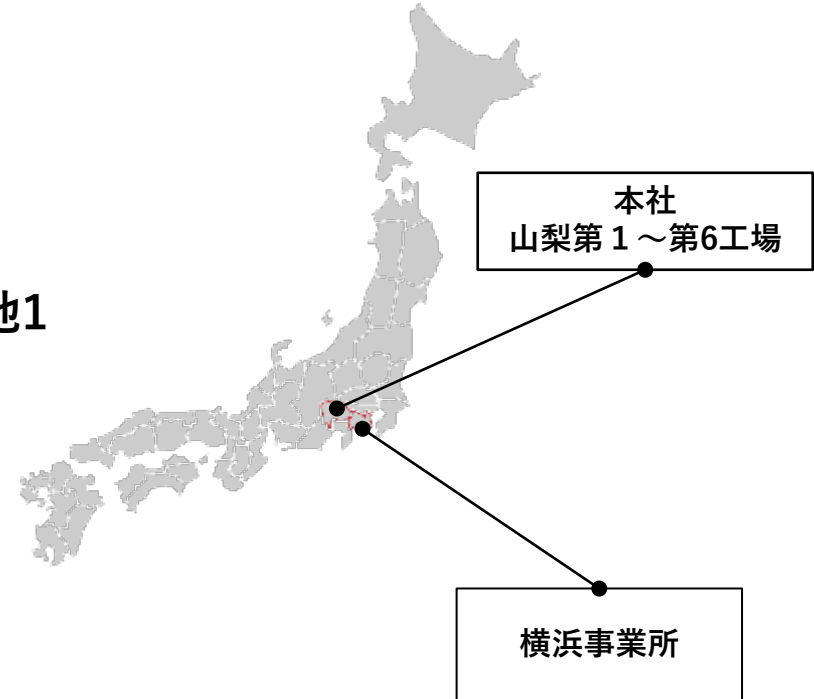
設立 : 2000年10月

本社所在地 : 山梨県北杜市武川町牧原1747番地1

従業員数 : 263名

資本金 : 1,737百万円

主な法人株主 : NTT-AT、KLA、ニコン、レーザーテック、島津製作所、他

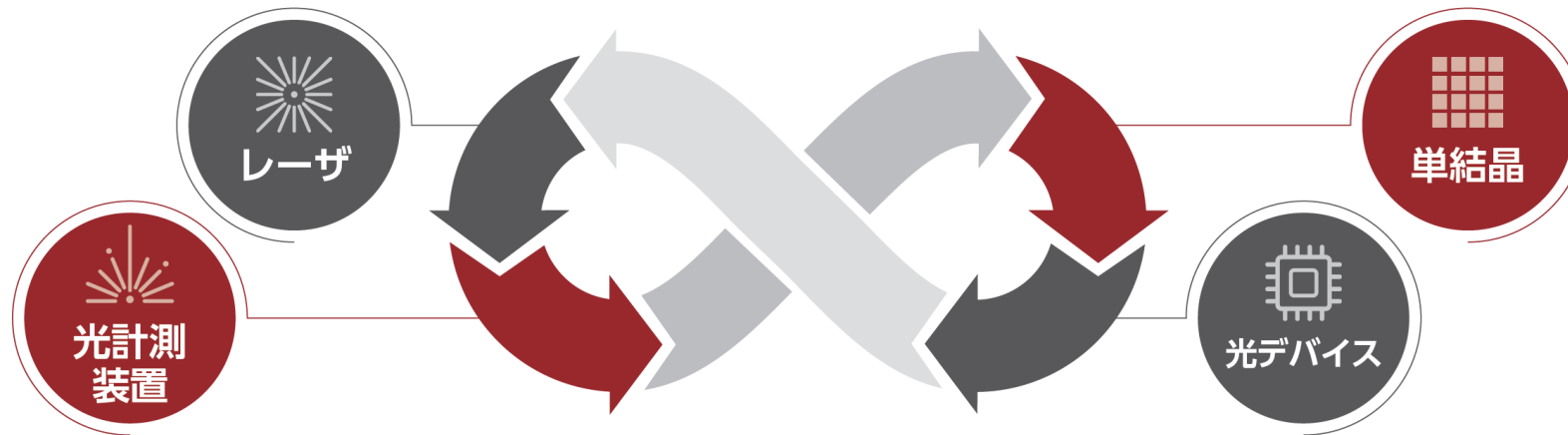


経営理念

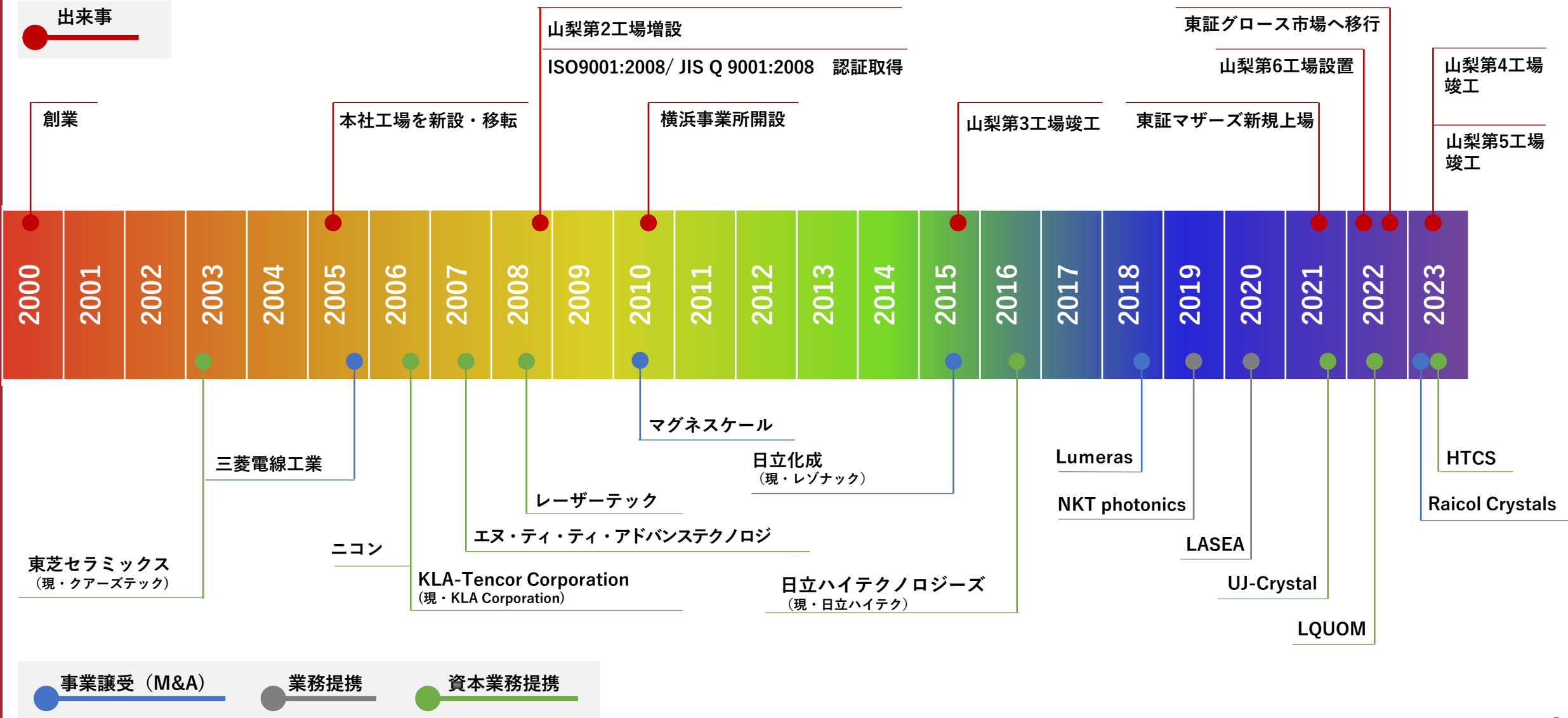
当社は**単結晶・レーザ**の

グローバルニッチトップカンパニーを目指します

- 研究成果を社会に還元し、**キーマテリアル**を世界に向けて発信する
- 顧客へ**マテリアルソリューション**を提供し、社会の発展に貢献する
- 単結晶を核とした製品を開発し、**未来の市場機会**を創造し続ける



沿革



M&A、業務提携への取り組み

- 当社は、国内外の企業からの事業譲受を通して、優れた光学技術を取り込んできました。
- 当社のコア技術と社外から取り込んだ技術を化学反応させることによって、事業展開を加速させてきました。



マネジメント・メンバー

(本書提出日現在)



代表取締役社長 (CEO)

古川 保典

工学博士

2000年10月 当社創業

(主な経歴)

独立行政法人物質・材料研究機構



取締役副社長 (CFO)

山本 正幸

(主な経歴)

(株) 商工組合中央金庫



取締役 (Co-CTO)

石橋 浩之

理学博士

(主な経歴)

日立化成(株)



取締役 (企業戦略担当)

内田 誠二

(主な経歴)

シティグループ証券(株)



取締役 (Co-CTO)

藤浦 和夫

工学博士

(主な経歴)

日本電信電話(株)

社外取締役、監査役、独立役員

(本書提出日現在)

社外取締役

中村 二郎

工学博士

光学知見

(主な経歴)

日本電信電話(株)

為近 恵美

理学博士

大学教授

光学知見

(主な経歴)

日本電信電話(株)

横浜国立大学成長戦略教育研究センター 教授

独立
役員

監査役

中嶋 豪

常勤監査役

経営知見

(主な経歴)

新日軽(株) 代表取締役社長

日本軽金属(株) 取締役副社長

独立
役員

小坂 義人

公認会計士

(主な経歴)

アクタス監査法人 代表社員

アストマックス(株) 監査役

スター・マイカ(株) 監査役

信越化学工業(株) 監査役

独立
役員

金兵 正樹

弁護士

(主な経歴)

長島・大野・常松法律事務所

GEキャピタル

リーマン・ブラザーズ証券(株)

バークレイズ証券(株)

独立
役員

- 1 - 企業情報
- 2 - 当社の強み**
- 3 - 事業ポートフォリオ
- 4 - 事業の概要
- 5 - M&A、
スタートアップ支援
- 6 - SDGs・地域共生
- 7 - 財務・リスク情報

当社のコア技術

コア技術①

高品質単結晶
育成技術

コア技術②

波長変換技術

【コア技術①】 「単結晶」とは？

- 「単結晶」とは、原子、分子配列の向きがまったく同一である物質のことです。
- 「単結晶」が持つ特性・機能を活かし、身の回りにはあるさまざまな製品に利用されています。

単結晶を利用した製品例



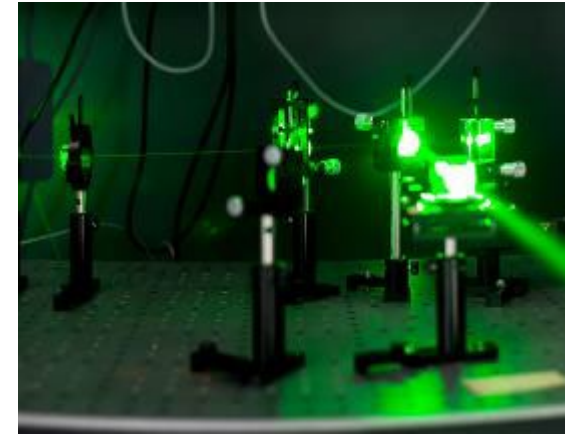
太陽光パネル



クォーツ時計



半導体チップを搭載した
スマートフォン



固体レーザー

【コア技術①】 高品質単結晶を育成する技術

- 単結晶育成技術とは、自然界で長い年月(何百年)をかけて作られる単結晶を、短期間(数日～数カ月)で人工的に作る技術です。
- 当社は、茨城県つくば市の国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)で発明した育成技術(DCCZ法)を有しています。
- DCCZ法に加えて、創業以来、様々な育成技術を取り入れてきました。
- 元素の組み合わせにより単結晶の種類は無数に存在しますが、それぞれの用途に応じて最適な単結晶育成方法が異なります。
- 多種の育成装置と原材料の配合や育成条件のノウハウ等の組み合わせによって、新材料の誕生や品質の向上が実現します。
- 特にレーザに利用されるものは、「高品質」な単結晶が求められます。

育成法	CZ法	FZ法	TSSG法	VB法	DCCZ法
装置					
育成方法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 大型単結晶育成が可能 	<ul style="list-style-type: none"> るつぼからの不純物混入の無い高純度な単結晶育成が可能 単結晶の試作に最適 	<ul style="list-style-type: none"> 高品質単結晶育成が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 大型単結晶育成が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 育成中に原料の追加ができる 育成の最初から最後まで同じ条件での育成が可能

【コア技術①】 各育成法により製造可能な結晶

育成法	CZ法	FZ法	TSSG法	VB法	DCCZ法
装置					
結晶	 LGSO  TGG  GPS	 YIG  Nd:YVO ₄	 CLBO  KTN	 LB4  EPOCH	 Mg:SLT  MgSN

【コア技術②】 光の波長とその用途

■ 光はその波長によって異なる性質を持ち、様々な分野で利用されています。

波長	1fm フェムトメートル	1pm ピコメートル	1nm ナノメートル	1μm マイクロメートル	1mm ミリメートル	1m メートル
エネルギー	1GeV ギガ電子ボルト	1MeV メガ電子ボルト	1keV キロ電子ボルト	1eV 電子ボルト	1meV ミリ電子ボルト	1μeV マイクロ電子ボルト
領域	X線		紫外線	可視光	赤外線	マイクロ波 短波 中波 長波



医療分析

X線撮影に使われているんだ

**殺菌
化学作用
日焼け**

日焼けは紫外線によるものなんだね

照明

目に見える光だから『可視光』って言うのね

加熱、通信

テレビのリモコン操作も赤外線

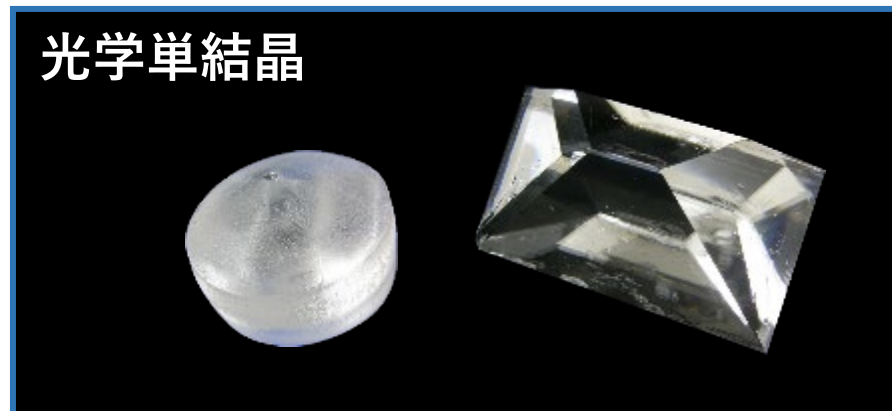
**テレビ放送
電子レンジ**

ラジオ放送

【コア技術②】 波長変換技術

- 波長変換とは、光の波長を変える技術です。
- 紫外レーザー光は、赤外レーザー光が光学単結晶を通ることで波長変換され、作り出されます。
- 特に波長の短い深紫外レーザー光(190-280nm)の性能と信頼性は、結晶の性質・品質に大きく左右されます。
- 当社の深紫外レーザーは、オキサイドの光学単結晶製造・加工技術と結晶利用に関する知識・技術により、世界トップレベルの出力パワーと長寿命を実現しています。

波長266nmを作る波長変換の例



単結晶育成技術と波長変換技術を利用した製品

- 当社は、幅広い光の波長領域に対応する光学単結晶を開発・製造・販売しています。
- それぞれの波長領域において期待される応用分野があります。

γ線

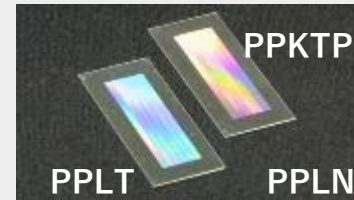
深紫外線

紫外線

可視光

赤外線

■ 単結晶



■ 応用分野



ヘルスケア



半導体検査



微細加工



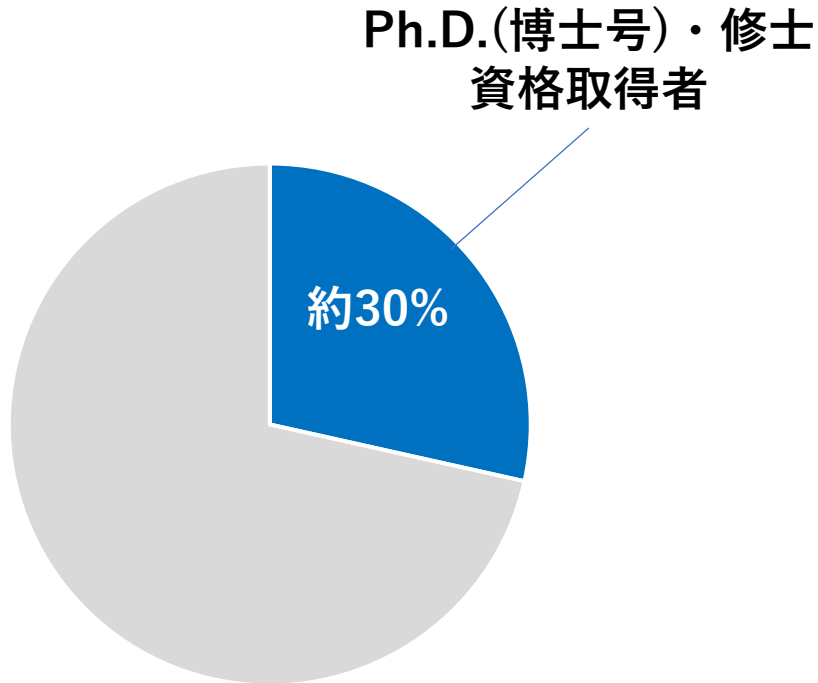
省エネ照明



量子技術

コア技術を支える技術メンバー

■ 結晶と光分野の専門性と実績を持つエンジニアが在籍しています。



研究開発および製造に従事する役職員に
占める修士号、博士号保有者の割合



古川 保典 (工学博士)

役職	研究分野	h-index*	文献数	被引用数
社長	単結晶	31	154	3,997



石橋 浩之 (理学博士)

役職	研究分野	h-index*	文献数	被引用数
取締役	単結晶	21	91	1,430



安斎 裕 (工学博士)

役職	研究分野	h-index*	文献数	被引用数
シニアサイエ ンティスト	単結晶	11	15	314



藤浦 和夫 (工学博士)

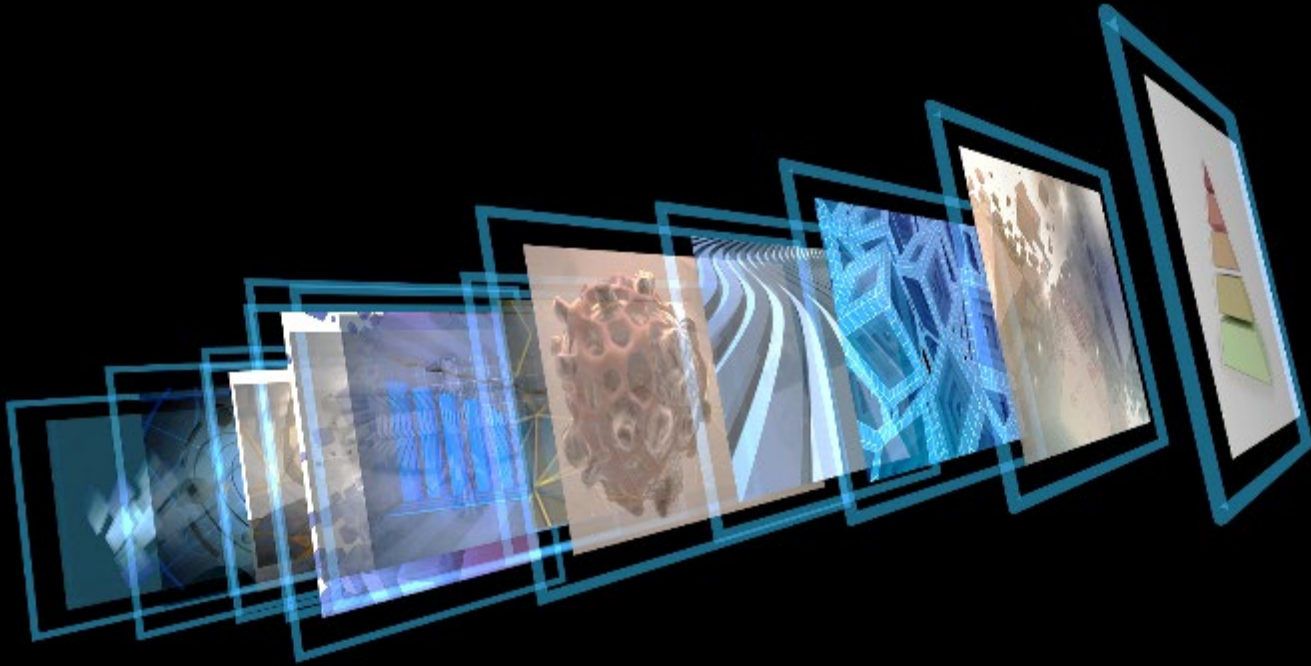
役職	研究分野	h-index*	文献数	被引用数
取締役	レーザ	15	71	873



金田 有史 (工学博士)

役職	研究分野	h-index*	文献数	被引用数
研究 アドバイザー	レーザ	19	96	1,453

*h-Indexとは、物理学者ジョージ・E・ハーシュが引用索引データベースWeb of ScienceのTimes Cited (被引用数)を元に考案した指標で、論文数と被引用数とに基づいて、科学者の研究に対する相対的な貢献度を示すものです。



- 1 - 企業情報
- 2 - 当社の強み
- 3 - 事業ポートフォリオ**
- 4 - 事業の概要
- 5 - M&A、
スタートアップ支援
- 6 - SDGs・地域共生
- 7 - 財務・リスク情報

OXIDEとRaicol



今後も結晶と光の技術で世の中を幸せにするべく、
Raicol Crystals Ltd.と共に光学分野における
グローバル・リーディング・カンパニーを目指してまいります。

オキサイド CEO

古川 保典

Raicol Crystals CEO

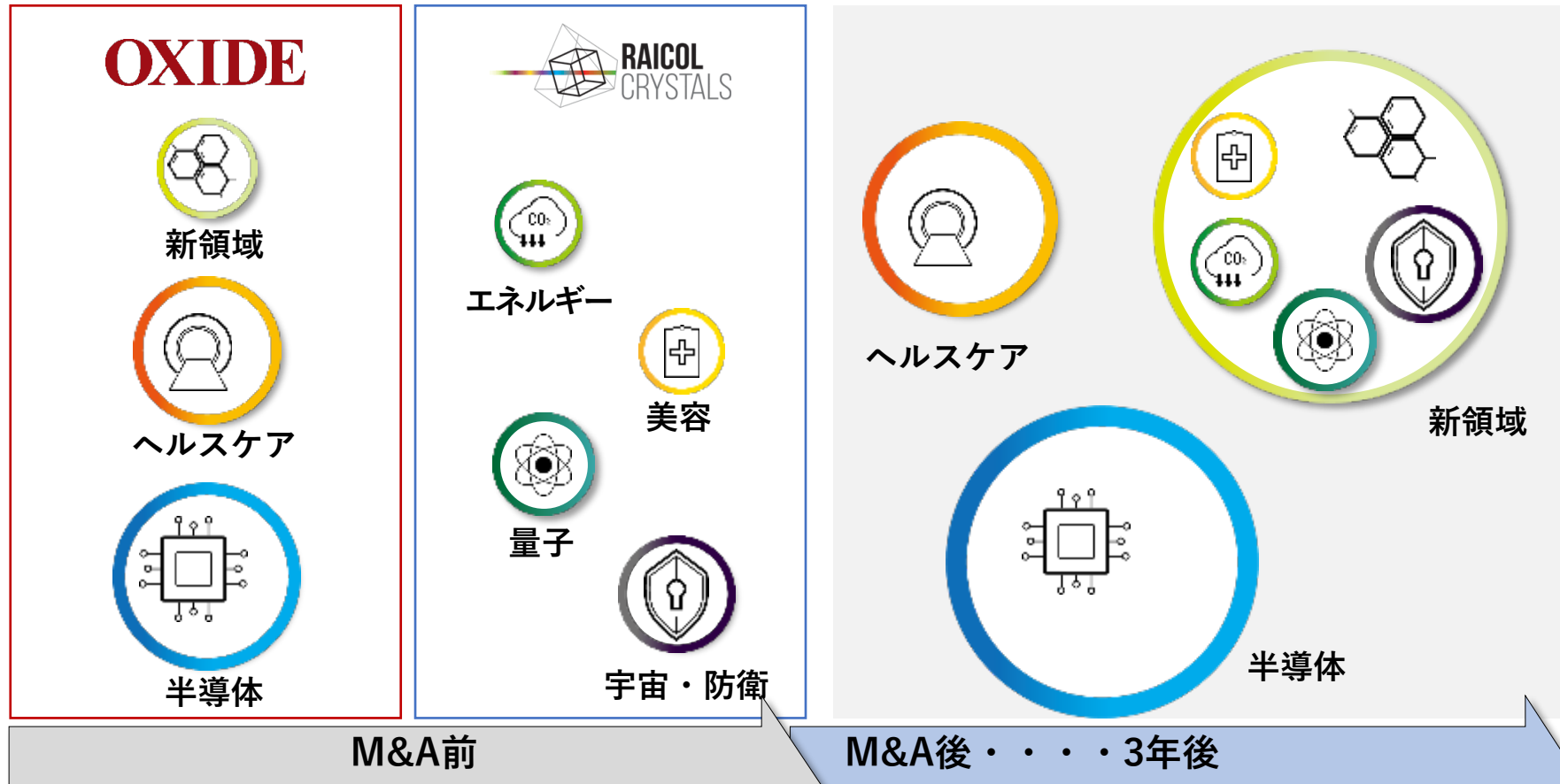
Aner Yarden



**We always keep moving forward, and
never lose the mission to make the world
a better place.**

【事業ポートフォリオ】 事業分野の拡張と成長

- Raicol社を子会社化することにより、事業分野の拡張が期待されます。
- 新たに「宇宙・防衛」、「美容」、「エネルギー」の3つの分野へ参入します。



2024年2月期 注力分野

1

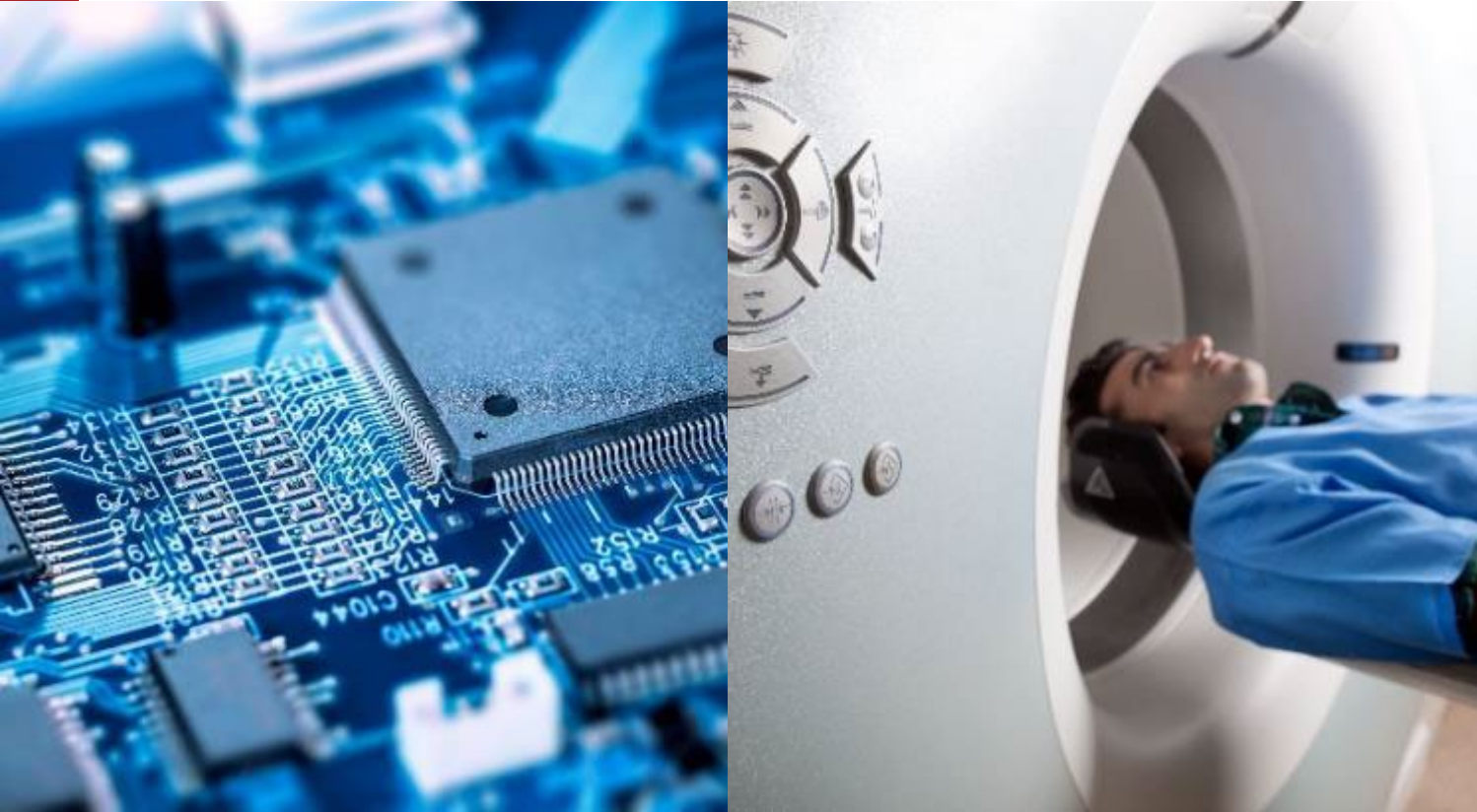
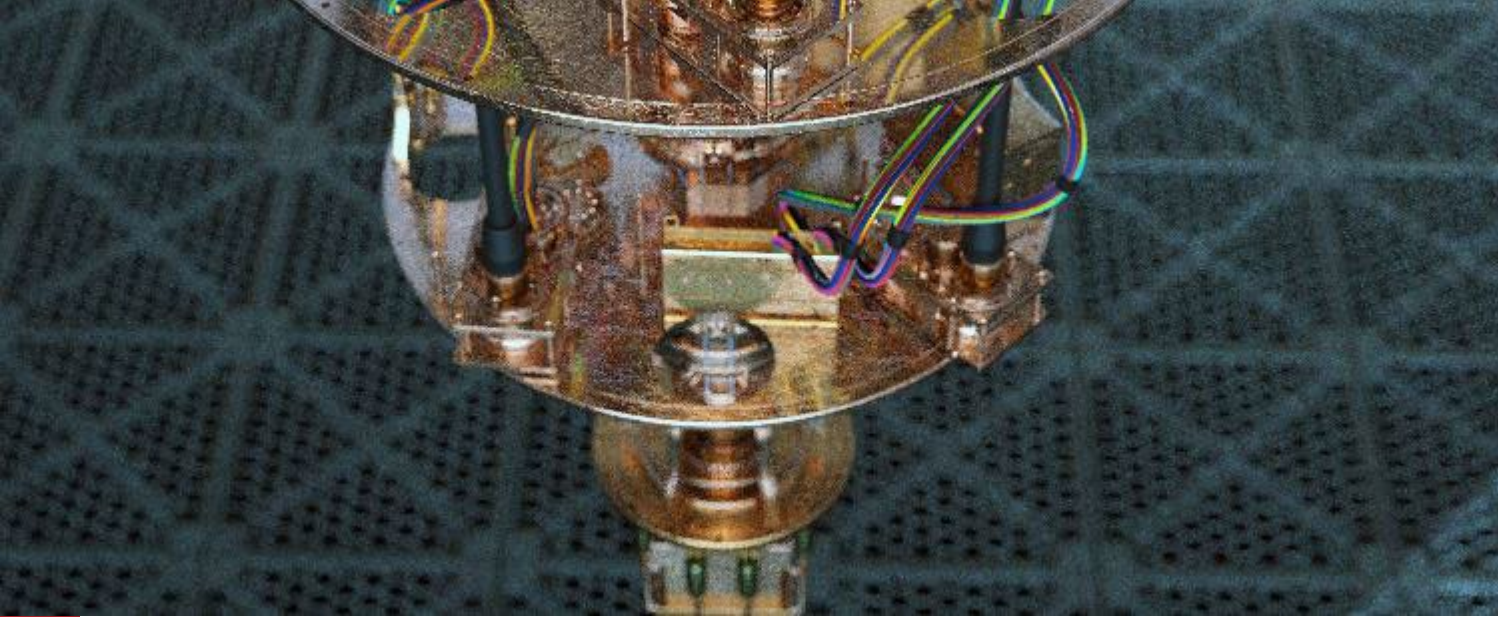
既存事業(半導体・ヘルスケア)でのさらなるシェアアップ

2

「量子」「パワー半導体」分野での研究加速

3

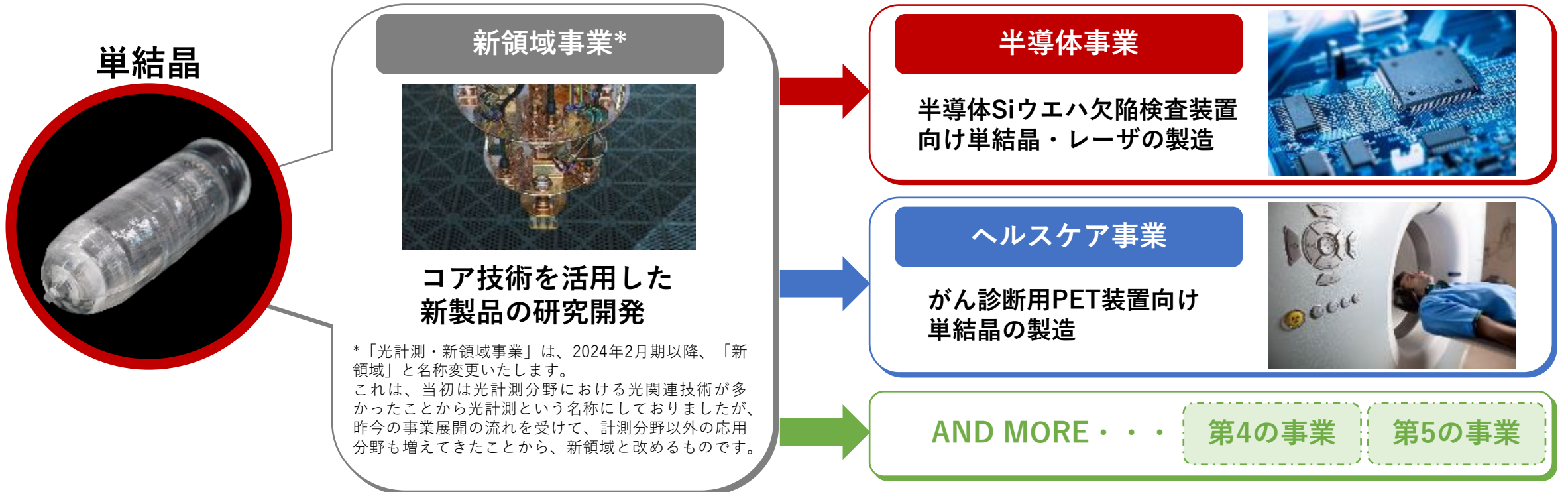
ディープテック分野のスタートアップ投資/支援



- 1 - 企業情報
- 2 - 当社の強み
- 3 - 事業ポートフォリオ
- 4 - 事業の概要**
- 5 - M&A、
スタートアップ支援
- 6 - SDGs・地域共生
- 7 - 財務・リスク情報

事業概要

- 当社は、単結晶、光部品、レーザ光源装置の開発・製造・販売を行っています。
- 「新領域事業」では、当社のコア技術を活用し、新製品の研究開発を行っています。
- また、Raicol社を子会社化したことにより、「新領域事業」における事業分野が拡張しました。
- 研究開発から量産化に成功したものが「半導体事業」と「ヘルスケア事業」となります。
- 「新領域事業」での取り組みから、第4、第5の事業の創出を目指します。

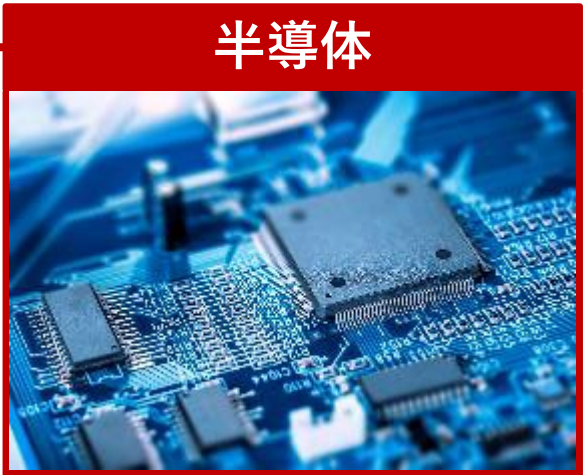
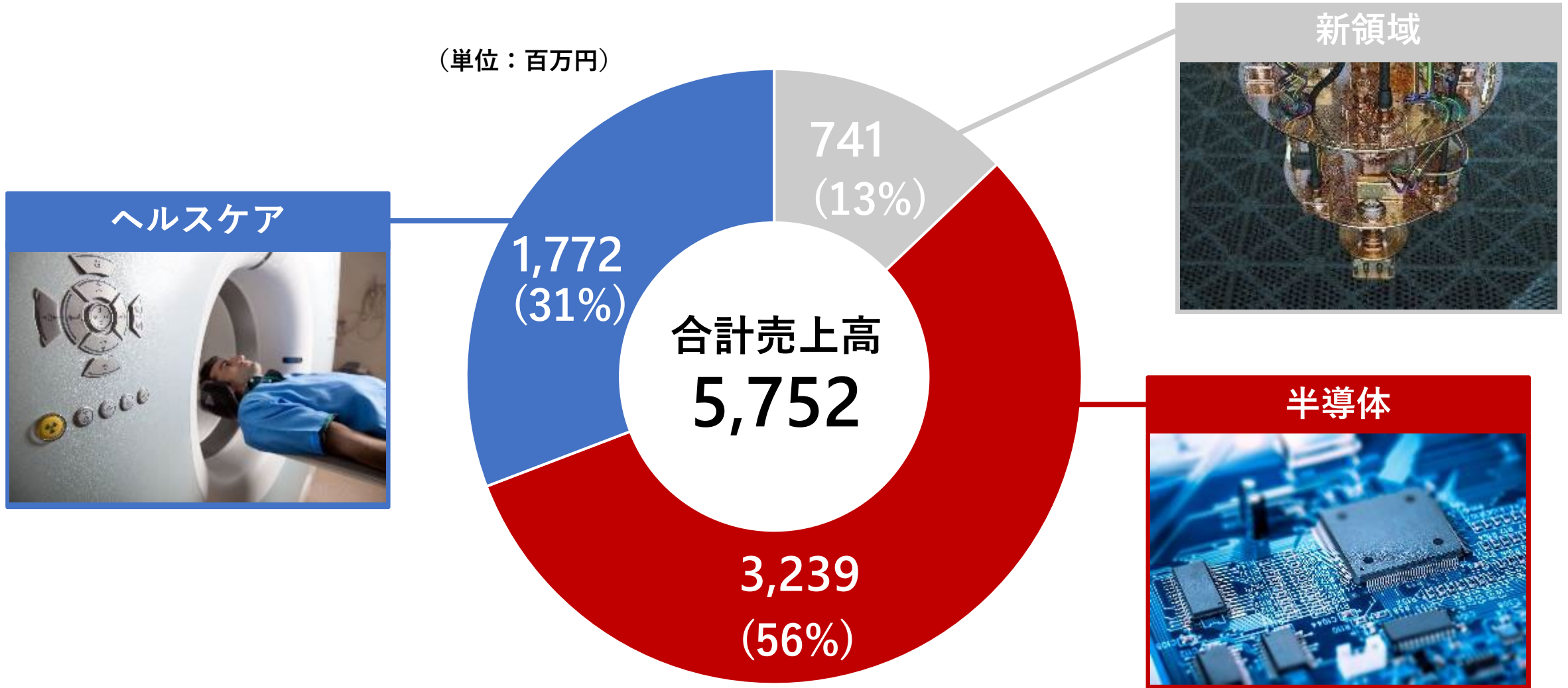


*「光計測・新領域事業」は、2024年2月期以降、「新領域」と名称変更いたします。
 これは、当初は光計測分野における光関連技術が多かったことから光計測という名称にしておりましたが、昨今の事業展開の流れを受けて、計測分野以外の応用分野も増えてきたことから、新領域と改めるものです。

事業別売上高構成 2023年2月期

■ 半導体事業が56%を占めることとなりました。

(単位：百万円)





半導體事業

【半導体】身の周りの半導体

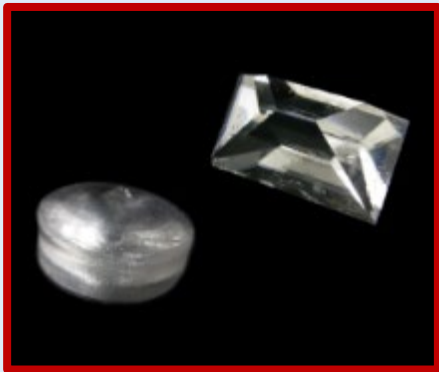


暮らしに欠かせない
半導体



【半導体】半導体検査における紫外レーザーの利用

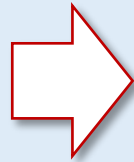
- 当社では、半導体ウエハ欠陥検査装置向けの単結晶と紫外レーザーを開発・製造・販売しています。
- 半導体製造工程では、シリコン(Si)ウエハの欠陥検査工程が何度も行われています。
- 当社の波長変換単結晶ならびに紫外線レーザーの世界シェアは、それぞれ95%、30%を達成しています。引き続きシェアアップ（特に、紫外レーザー）を目指しています。



波長変換結晶

- ・ BBO
- ・ CLBO
- ・ LBO

世界シェア95%



紫外線レーザー

- ・ 355nm
- ・ 266nm

世界シェア30%



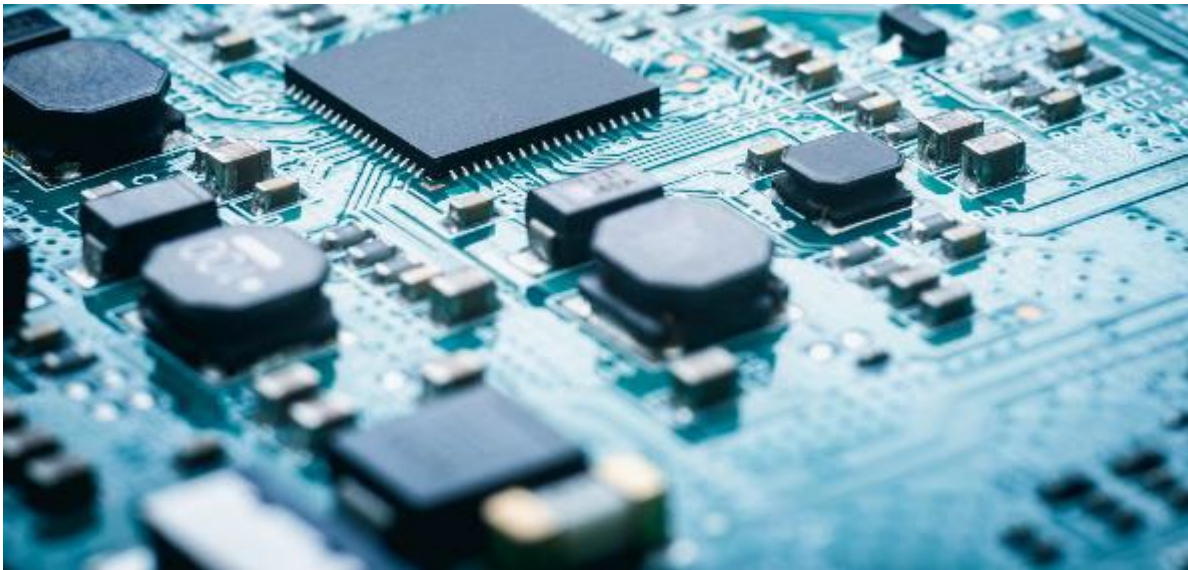
半導体ウエハ欠陥検査装置のイメージ図

【半導体】2023年2月期 実績

- 前期比+31.4%となり、増収に大きく寄与しました。
- 新規レーザの販売台数が堅調に伸びたことが要因です。

(単位：百万円)

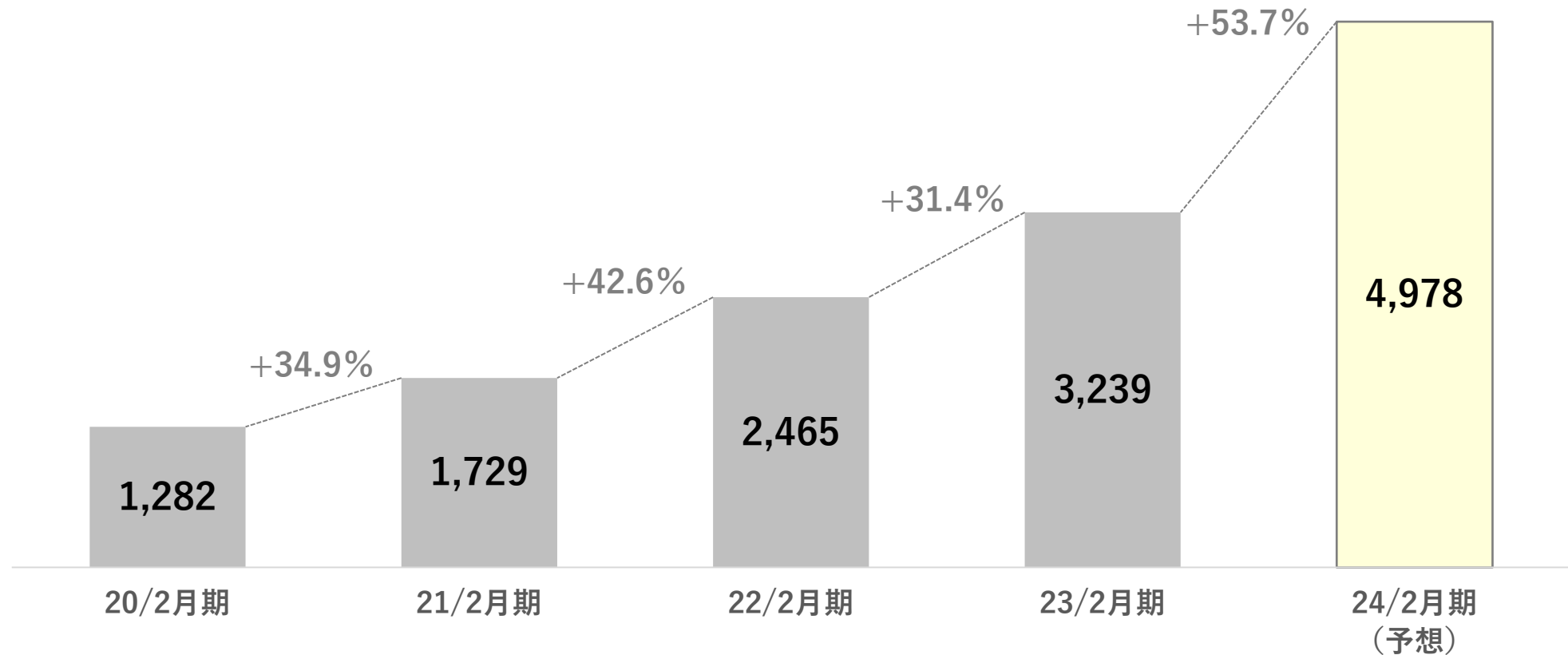
	22/2期	23/2期				23/2期	前期比	前回予想 達成率	前回予想
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	2,465	692	952	707	886	3,239	+31.4%	101.8%	3,181



【半導体】売上高予想（連結）

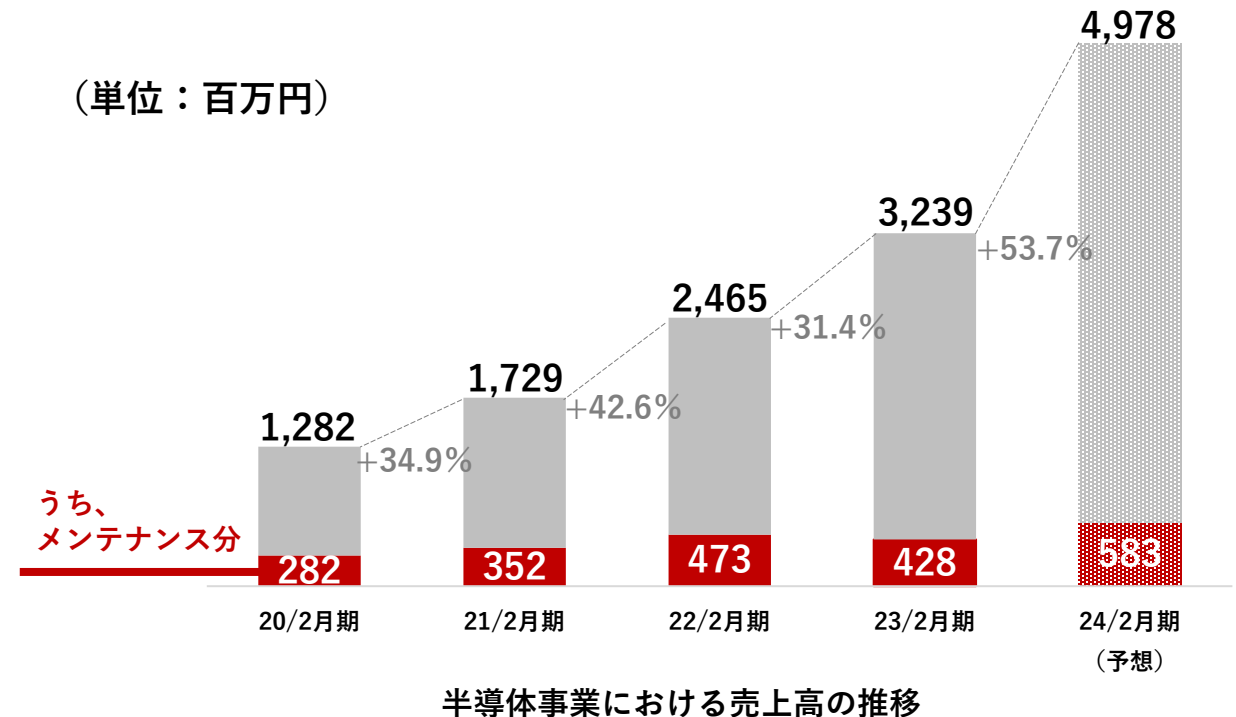
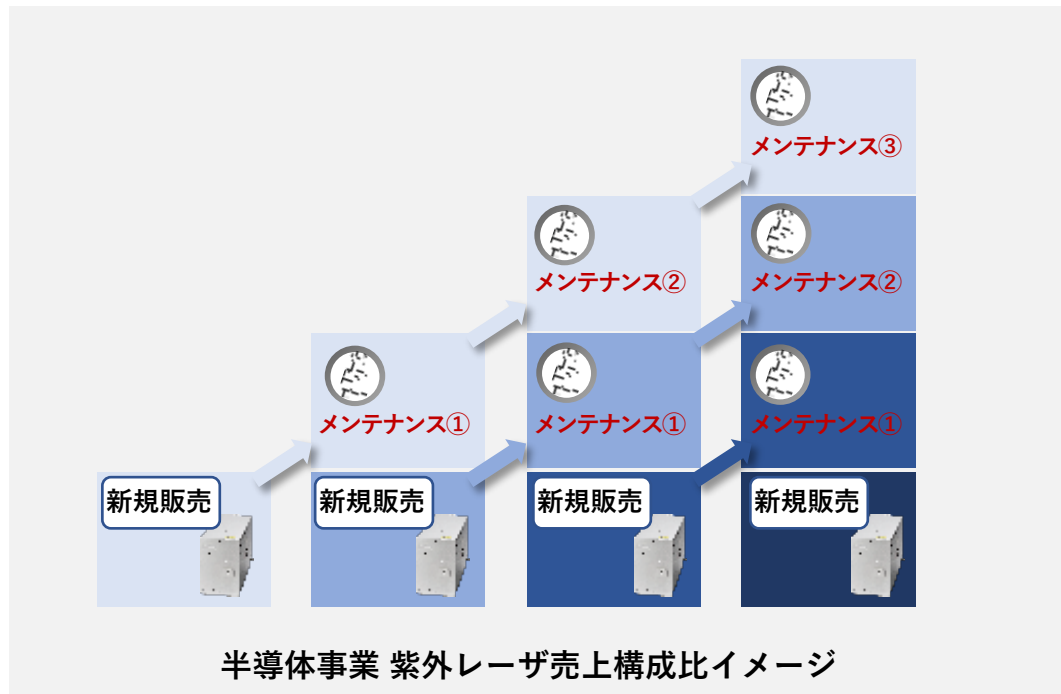
■ 第4工場稼働による生産能力の増強に加え、前期からの繰越分が寄与し、売上高+53.7%を見込んでいます。

（単位：百万円）



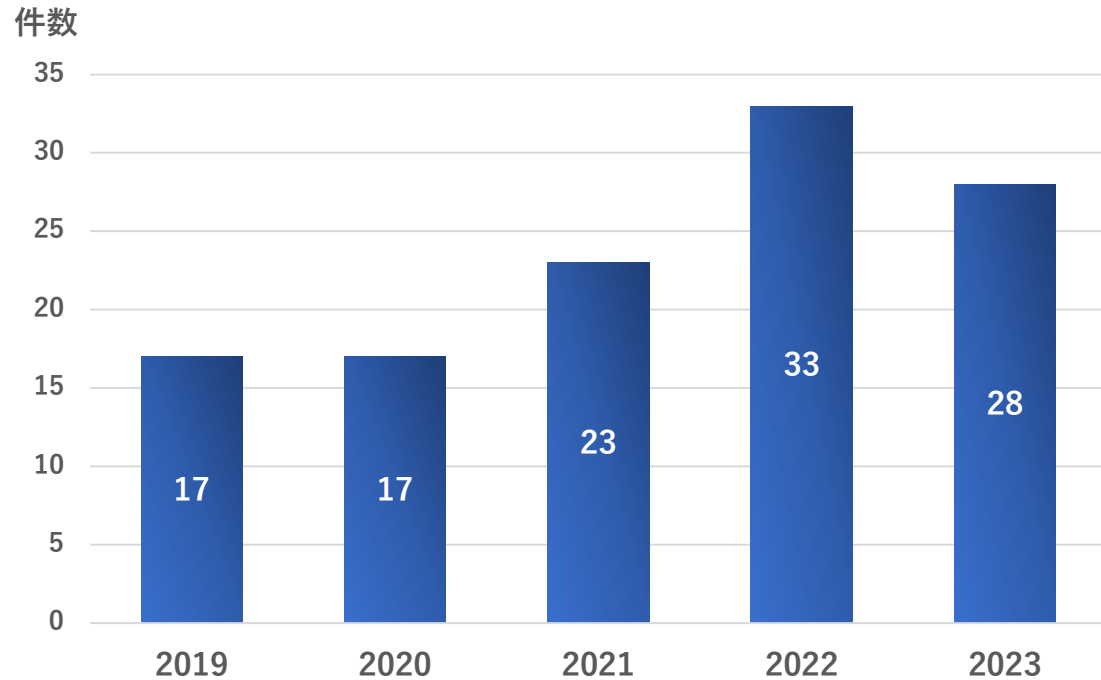
【半導体】事業発展の展望

- 過去3年間に於いて年率30%超で事業成長しており、今後も出荷台数増加と継続成長が見込まれます。
- 販売したレーザ装置は、一定期間(1~2年)ごとに、使用に伴い劣化する単結晶や光学ユニットの交換(メンテナンス)が必要です。
- 半導体工場での稼働台数増加・装置の新規売上に伴い、メンテナンス需要の増加も見込まれます。
- 新規売上後も、メンテナンス売上が累積的に増加するリカーリング的なビジネスモデルです。



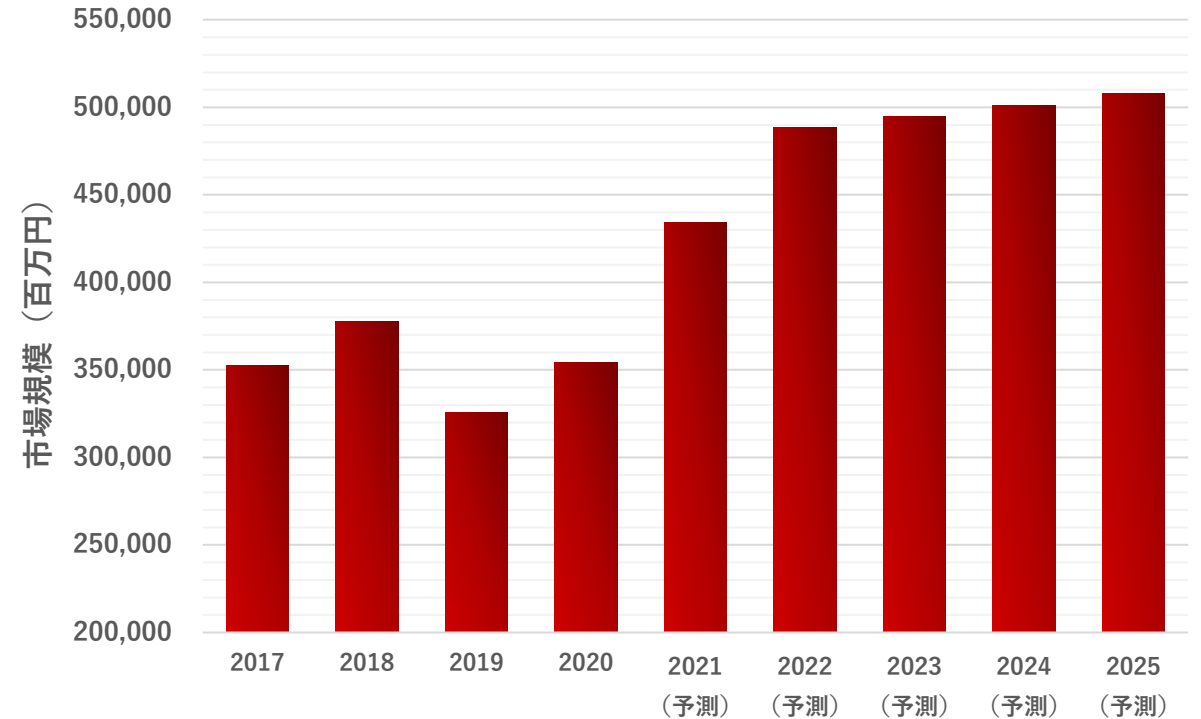
【半導体】半導体ウエハ欠陥検査装置市場環境

- 経済安全保障の高まりや半導体の需要増加を背景に、世界各国で半導体工場の新設が進んでいます。
- 半導体の需要増加に伴い、半導体ウエハ欠陥検査装置の需要も高まっています。



世界の新規半導体工場の着工件数の推移

出所: SEMI



半導体Siウエハ欠陥検査装置世界市場予測

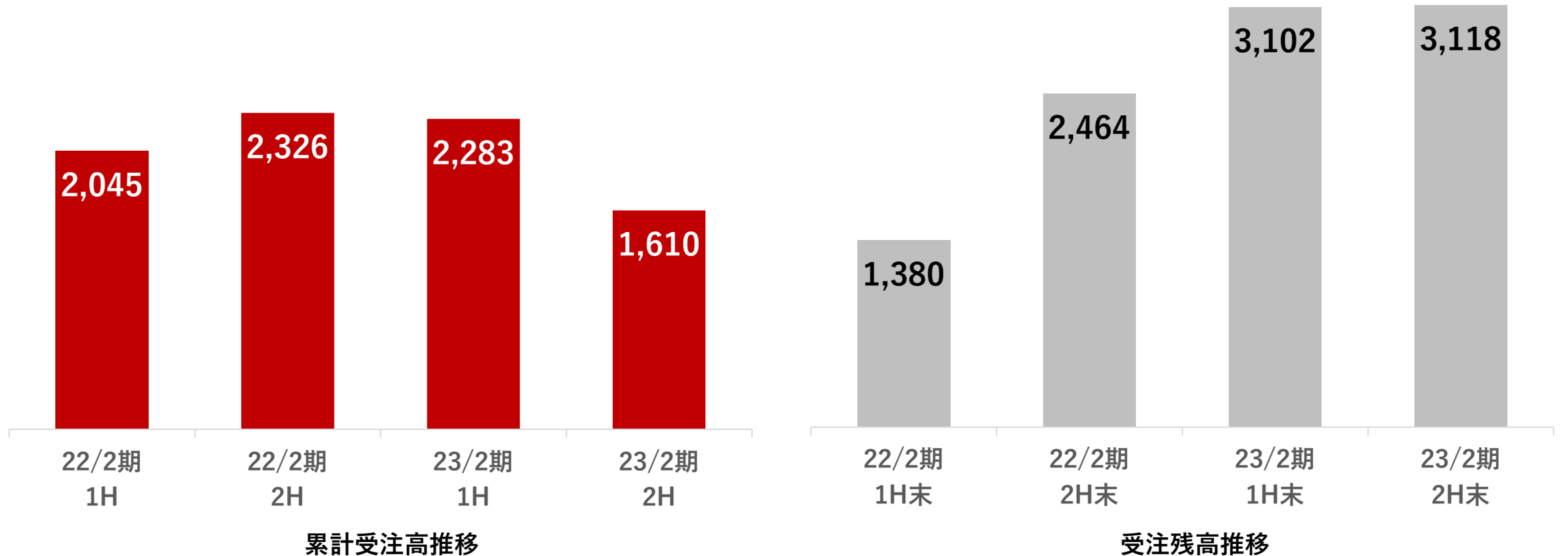
出所: 世界半導体製造装置・試験/検査装置市場年鑑2021 (グローバルネット株)

【半導体】受注高と受注残高

- 23/2月期3Qに調達部材の合格率が一時的に低下しましたが、4Q以降回復基調にあります。
- 23/2月期2Hは、問題解決に注力するため一時的に受注を調整しました。

(単位：百万円)

(単位：百万円)



【半導体】量産・メンテナンス体制の強化

- 新規受注やメンテナンス需要の増加に対応するため、設備増設や製造エリアの拡張を進めています。
- 横浜事業所のクリーンルーム増設、山梨第4工場の建設が進行中です。
- 製造用設備も自社で設計製造をしており、日々現場の声を取り入れながら設備を改善し、生産性や品質の向上を図っています。

山梨 第4工場

2023年3月 竣工*

レーザ装置メンテナンス業務のキャパシティ拡大

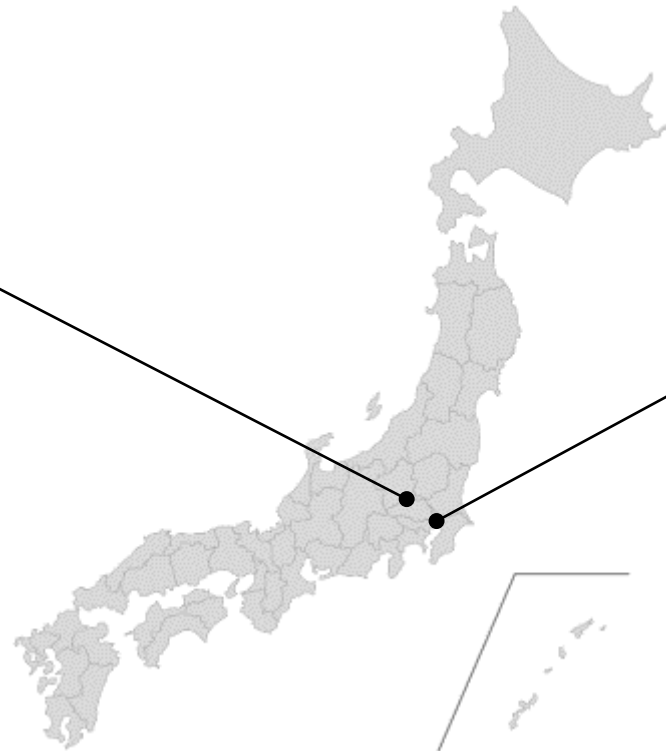


*第1期工事は2023年3月に竣工しました。
第2期工事は、2025年2月期完了予定です。

横浜事業所

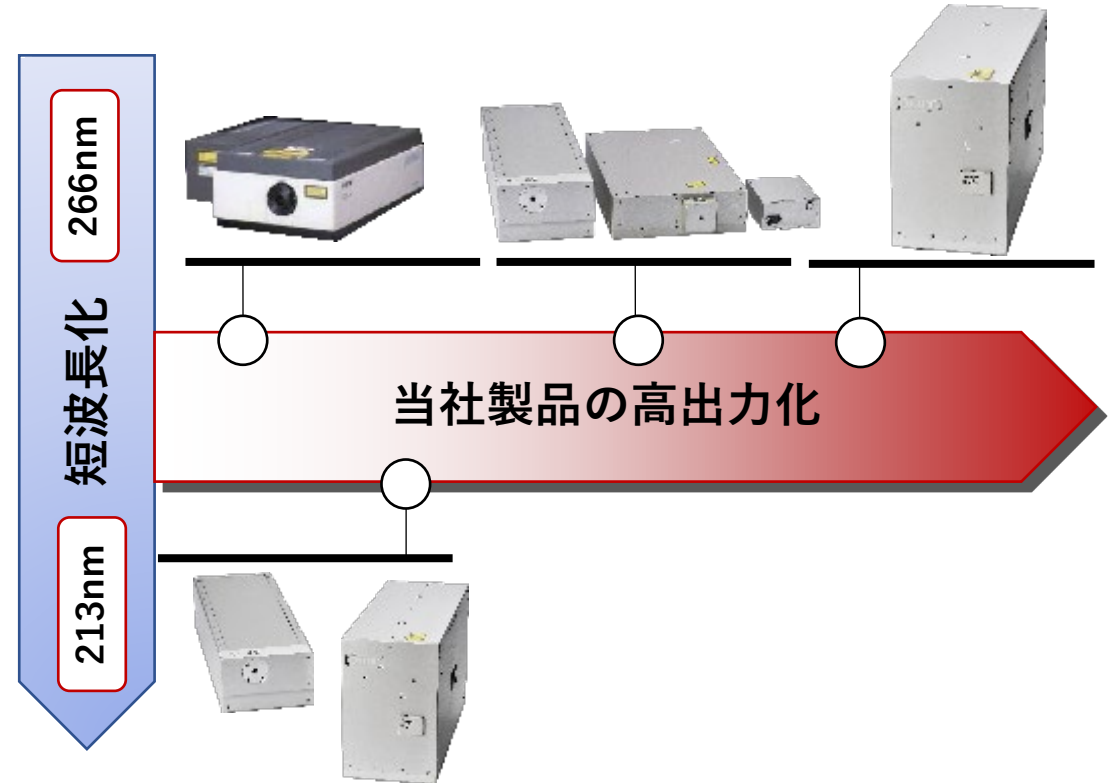
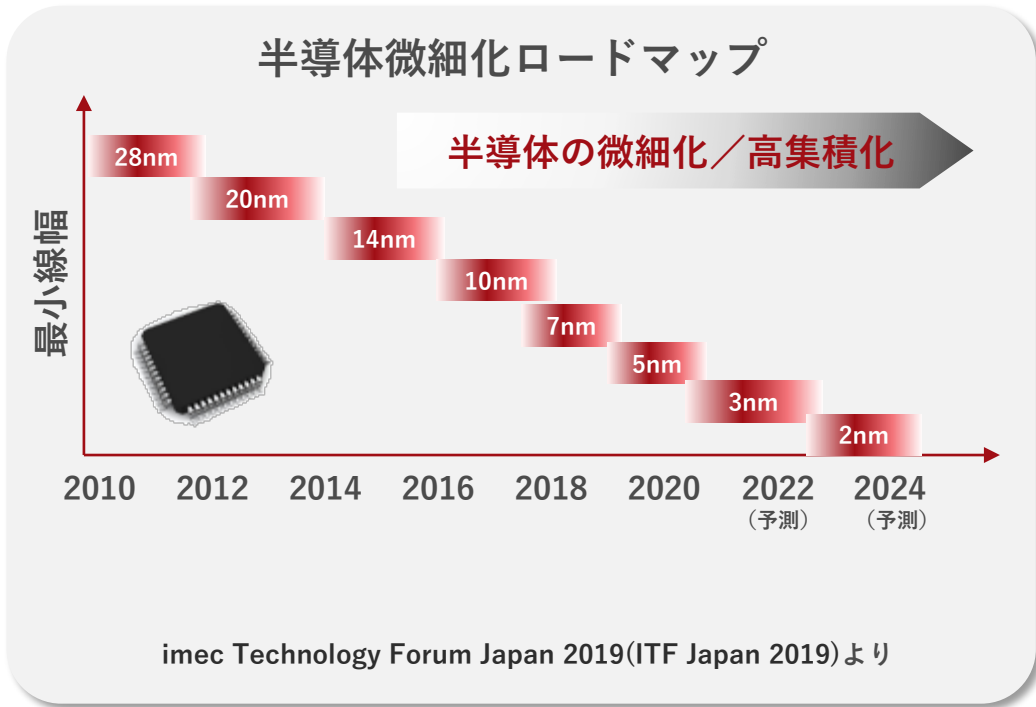
2022年5月 移転

業容拡大に伴う移転・増床
クリーンルーム増設進行中



【半導体】半導体検査用紫外レーザーの技術トレンド

- 半導体の微細化に伴い、より小さな欠陥を短時間で検出することが求められています。
- レーザ光源の「短波長化」および「高出力化」という技術トレンドがあります。
- 世界の最先端検査装置では、当社の266nmが使用されています。



【半導体】 レーザ技術の研究開発

■ レーザ技術については、「既存製品の強化（半導体検査）」に加え、「最先端・次世代製品」の研究開発を進めています。

既存製品の強化



最先端アプリ・次世代製品

光電子分光

- ◆ 最先端分析、学術用途
- ◆ 11eV、CW 213nm

微細加工

- ◆ 微細加工、マイクロLED
- ◆ フェムト秒レーザー

次世代計測

- ◆ 次世代計測機器
- ◆ CW レーザ

ヘルスケア事業



【ヘルスケア】オキシサイドの結晶技術が支える未来の安心



検査から治療へ

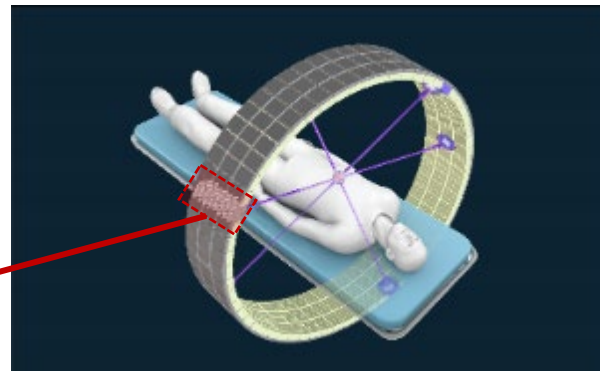


結晶から装置へ

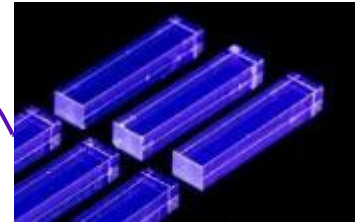
未来の安心へ

【ヘルスケア】がん診断用PET検査装置とシンチレータ単結晶

- **がん診断用PET検査装置とは、患者に「がん細胞に集中する放射性薬剤」を注射し、薬剤から発せられる放射線を検知する検査装置です。**
- **シンチレータ単結晶とは、放射線に反応して光を発する結晶であり、PET検査装置には必要不可欠な材料です。**
- **当社は、シンチレータ単結晶を開発、製造、販売しております。引き続きシェアアップを目指しています。**



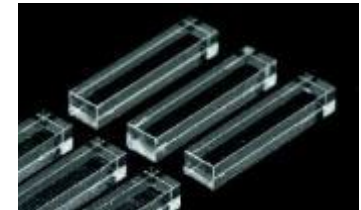
ON



高出力 = 高検出力



OFF



減衰時間が短い（直ちに消える） = 画質向上

【ヘルスケア】シンチレータ単結晶の性能向上がもたらす効果



高品質なシンチレータ単結晶

診断画像の鮮明化

PET検査で得られる画像が鮮明になり、診断がより正確になります。



注入する薬剤の少量化

少ない薬剤でも診断ができるため、患者の身体的負担が軽減されます。



検査時間の短縮

短い検査時間でも診断ができるため、患者の身体的、精神的負担が軽減されます。



【ヘルスケア】 2023年2月期 実績

■ 3Qは過去最高の売上高となった一方、4Qは顧客の在庫生産調整のため売上が低調に推移しました。

(単位：百万円)

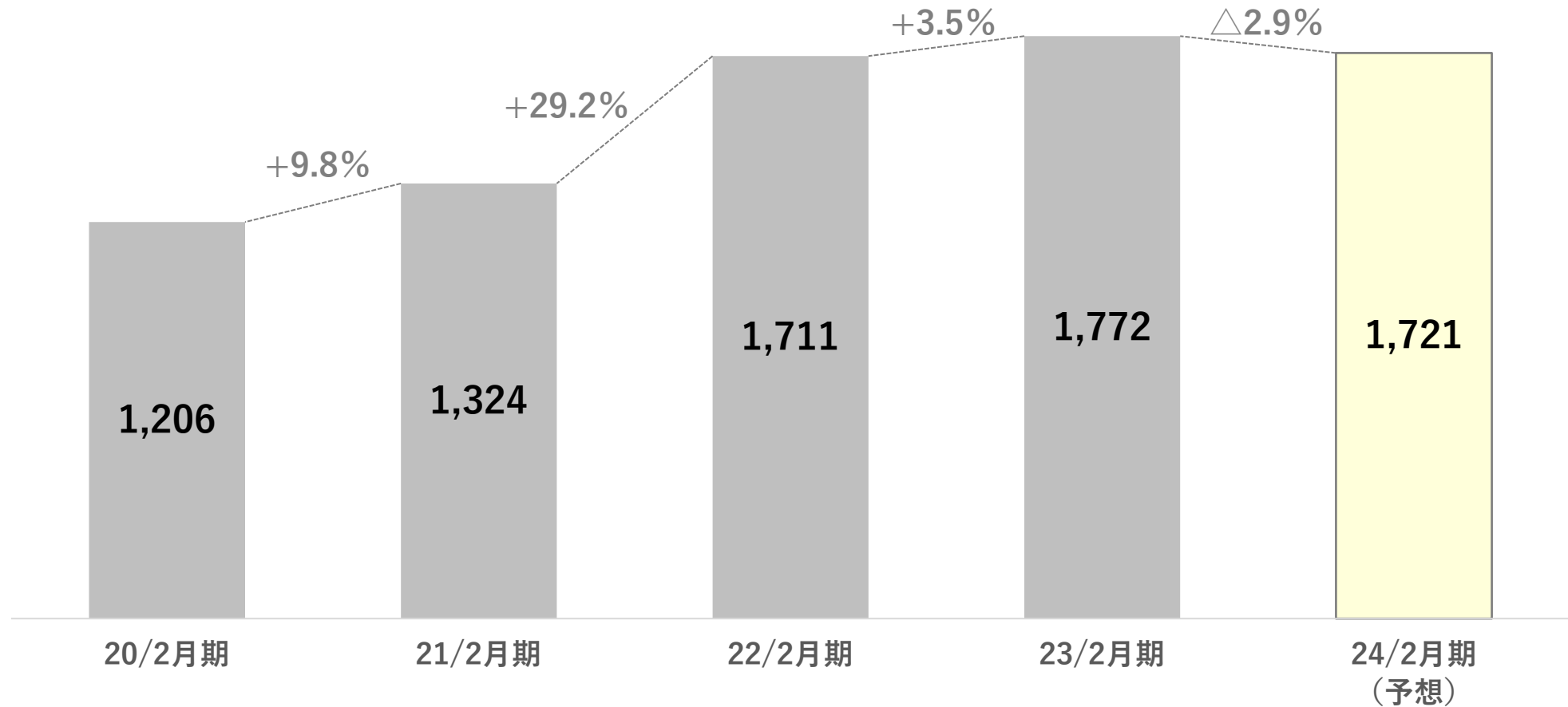
	22/2期					23/2期	前期比	前回予想 達成率	前回予想
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	1,711	490	467	598	216	1,772	+3.5%	90.9%	1,950



【ヘルスケア】売上高予想（連結）

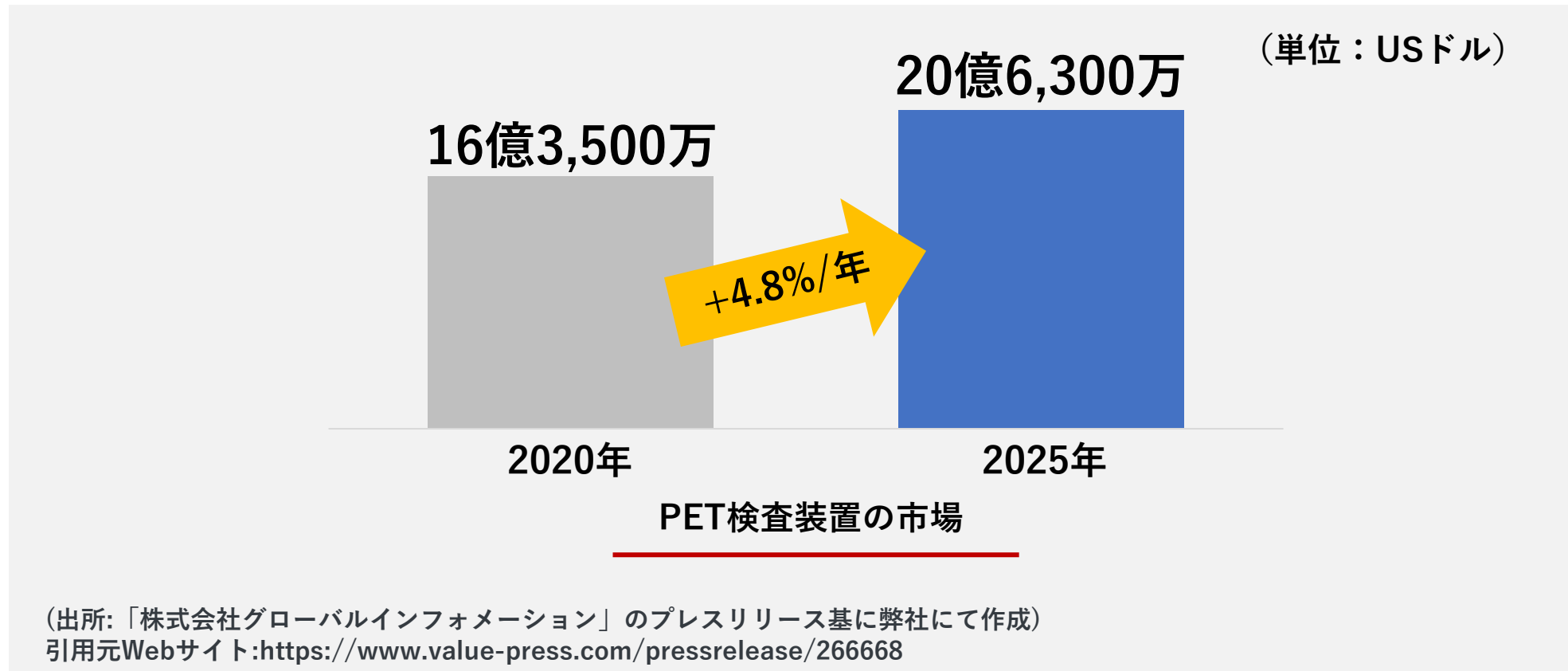
■ 米国景気減速等でがん診断PET用は20%減収見込みです。一方、認知症診断PET用の増加により全体で微減収予想です。

（単位：百万円）



【ヘルスケア】PET検査装置市場環境

■ PET検査装置の市場は、年平均成長率 4.8%の安定した伸びが予想されています。



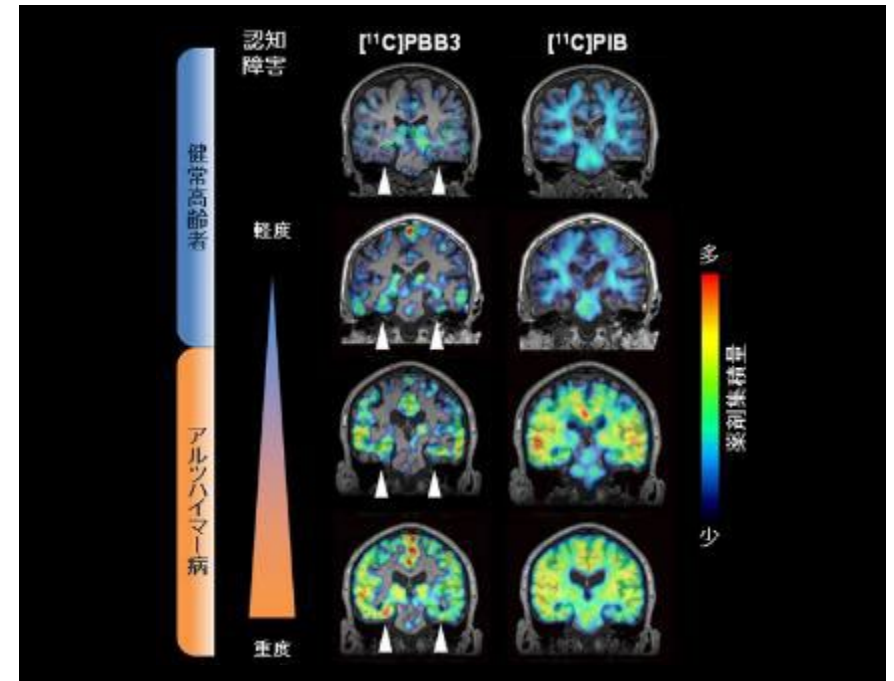
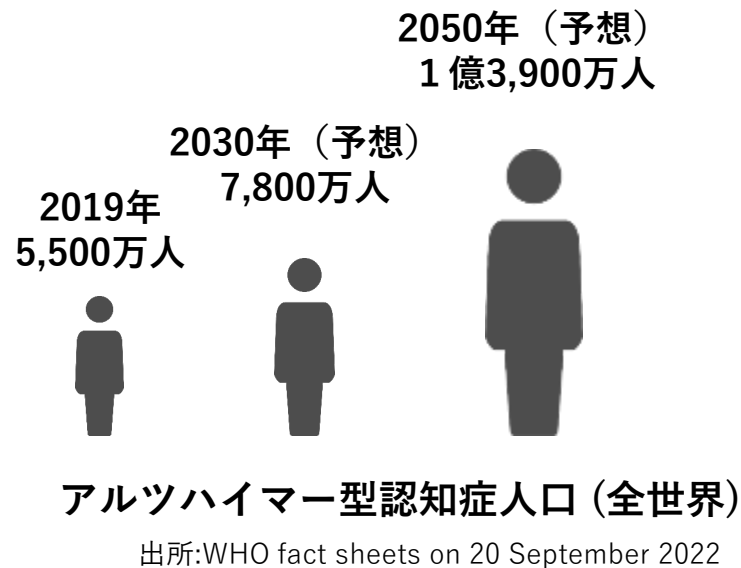
【ヘルスケア】新しい市場への挑戦 -頭部用PETへの期待①-

- 頭部用PET検査は、アルツハイマー型認知症の原因物質アミロイドβの検査方法の一つです。
- アルツハイマー型認知症診断においてPET検査は、早期発見、診断、経過観察で重要な役割を担います。
- PET検査は、アルツハイマー型認知症の発症と進行に対する客観的な指標としての判断が見込まれます。



【ヘルスケア】新しい市場への挑戦 -頭部用PETへの期待②-

- 認知症患者数は、がん患者の4倍以上であり、頭部用PETの普及が期待されています。
- アルツハイマー型認知症の治療薬「レカネマブ」が、2023年1月に米国FDAより迅速承認を取得しました。
- 治療薬の普及に伴い、検査需要の高まりが期待されます。
- 当社製シンチレータ結晶の頭部用PETへの採用に向け、営業活動を推進しています。



アルツハイマー型認知症の発症と進行に伴うPET薬剤集積量の変化



新領域事業

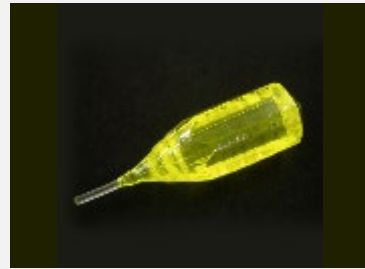
【新領域】概要

- 当社のコア技術を活用し、新用途・新製品を研究開発し、一部製品を販売しています。
- 自社の研究開発に取り組むと共に、世界中の企業・大学研究機関からの研究開発を受託しています。
- 垂直統合のビジネスモデルとなっており、単結晶育成、単結晶を加工したウエハ、チップ、光部品、レーザ光源装置等、顧客に最適なソリューションを提供しています。

光学単結晶



波長変換用単結晶



蛍光体単結晶



アイソレータ用単結晶



レーザ用単結晶



ウエハ



チップ



光部品



レーザ光源装置



【新領域】 2023年2月期 実績

■ 研究機関向けスポット売上が寄与し前期比+27.9%となりました。

(単位：百万円)

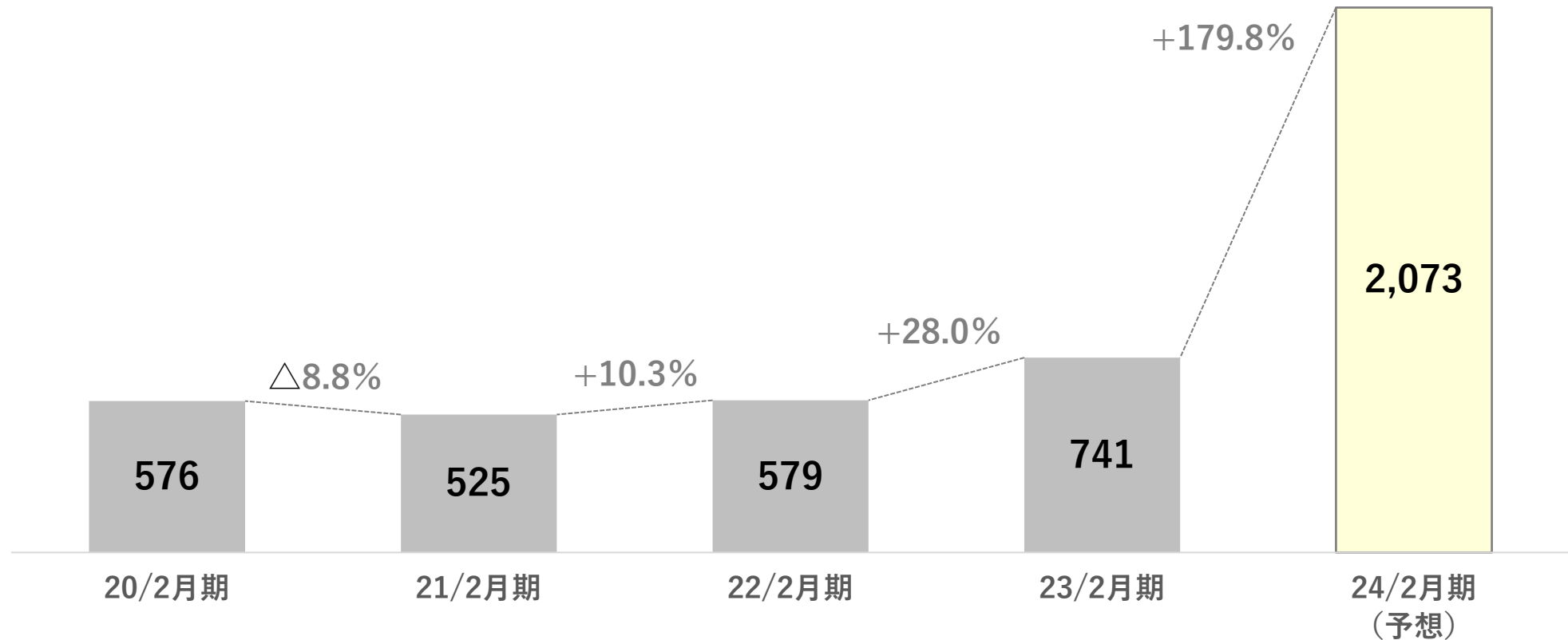
	22/2期					23/2期	前期比	前回予想 達成率	前回予想
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	579	236	123	153	228	741	+27.9%	100.3%	739



【新領域】売上高予想（連結）

■ Raicol社の子会社化により24/2月期の売上高は+179.8%増加します。

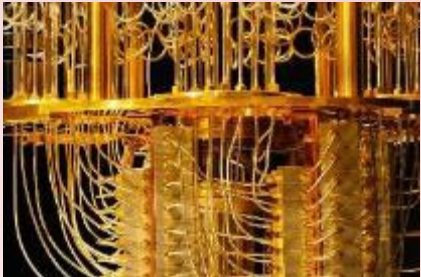
（単位：百万円）




注力事業分野・研究開発活動

- 当社は、「量子」「パワー半導体」分野に注力しています。
- Raicol社を子会社化したことにより、「宇宙・防衛」「エネルギー」「美容」分野が加わりました。

注力分野



量子もつれ光源モジュール
(量子通信デバイス)



パワー半導体
(SiC単結晶/GaN基板用単結晶)

Raicol社の4事業



宇宙・防衛



量子



エネルギー



美容

グローバルニッチマーケット



5G
(アイソレータ単結晶)



放射能汚染モニタ
(GPS単結晶)

競争優位性が期待できるマスマーケット



レーザ照明
(蛍光体単結晶・デバイス)



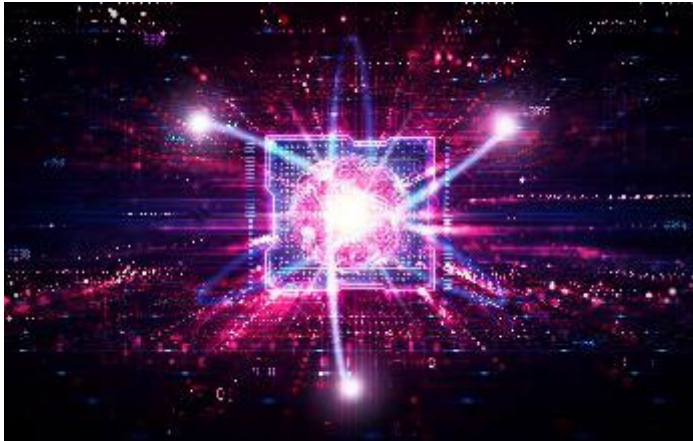
MicroLED
(フェムト秒レーザ)



フォトマスク
(描画用レーザ)

【量子】量子技術について

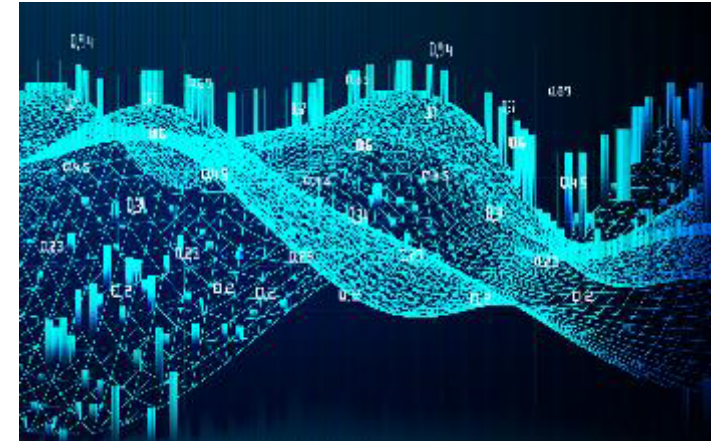
- 「量子」とは、極めて小さなエネルギーや物質の単位の総称（例：光子、原子）です。
- 「量子技術」とは、量子の持つ特殊な性質を活用した次世代技術です。
- 量子技術は、金融・エネルギー・防衛・創薬・運輸など幅広い産業に発展をもたらすと期待されています。



量子コンピューティング
超高速



量子通信
超高セキュリティ



量子センシング
超高感度・精度

【量子】LQUOM社と共に目指す量子暗号通信

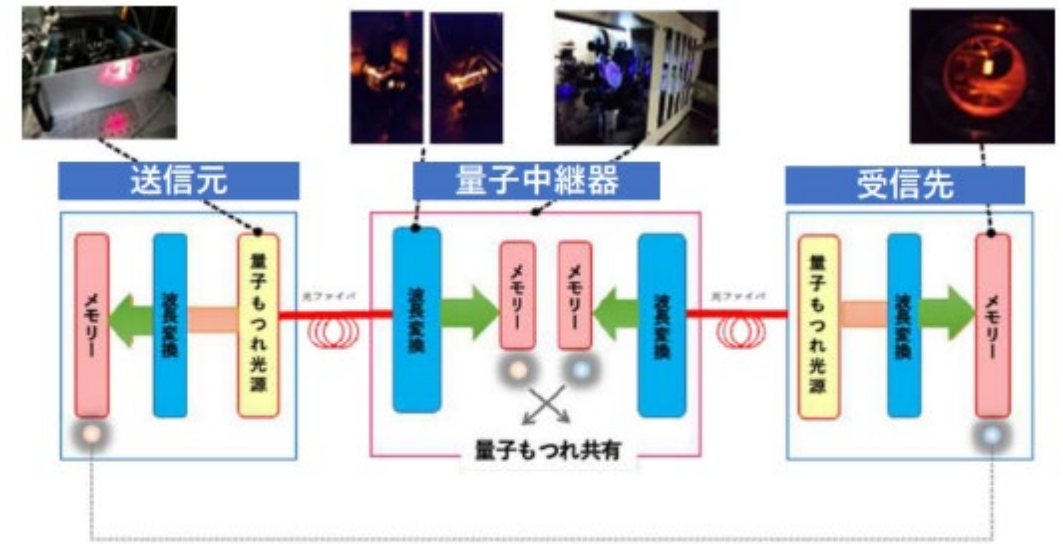
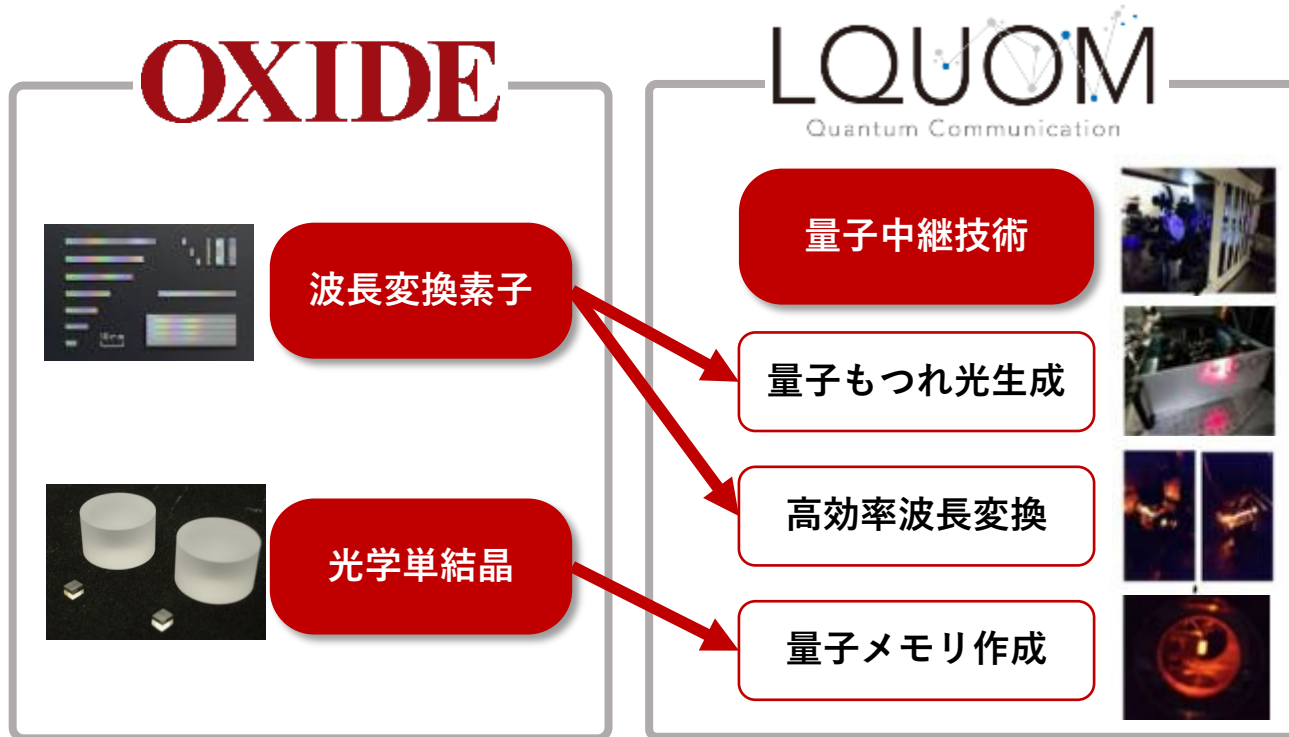
- 量子コンピュータの実用化により、既存の暗号化通信のままでは瞬時に解読されるリスクが生じます。
- 対策として、量子通信を利用する新たな暗号通信方式（量子暗号通信）の社会実装が進んでいます。
- 量子通信の長距離化に取り組むLQUOM社と共に、量子暗号通信ネットワークの実現を目指します。

安全性の高い
次世代ネットワーク



【量子】長距離量子通信におけるLQUOM社との親和性

- LQUOM社は長距離量子通信を可能にする量子中継機に関するコア技術を保有しています。
- 当社は長距離量子通信システムに必要な光学単結晶と波長変換素子に関するコア技術を保有しています。
- 両社の技術を融合して、市場参入を加速していきます。



長距離（500km以上）で量子もつれ状態共有可能

LQUOM社の量子中継技術

出所：LQUOM社

【量子】Raicol社とのシナジー

- 量子通信分野で使用されるほぼ全ての波長変換素子が提供可能となります。
- 両社の素子・モジュール化技術の融和により、量子通信向け光源市場への参入が狙えます。
- 効率的な新規顧客開拓が進み、量子技術分野全体への展開が広がります。

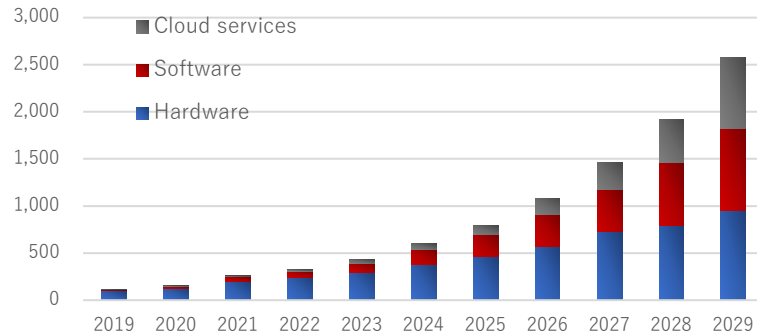


【量子】量子技術分野の市場予測

- 当社は、LQUOM社とともに量子暗号通信分野の展開を加速し、川下展開を図ります。
- また、Raicol社との協業により、暗号通信に限らず量子分野の川上基幹部品市場を抑えます。

量子コンピュータ市場

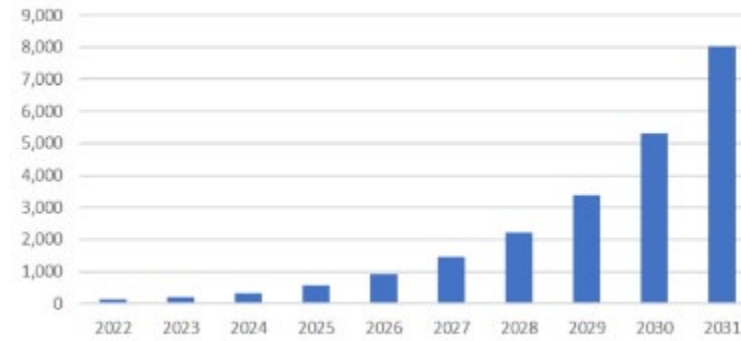
Aggregate Revenues for Quantum Computers: By Type of revenues (\$Millions)



出所：Inside Quantum Technology社を基に当社で作成

量子通信システム市場

Total Market for Quantum Networking Systems, 2022 to 2031 (\$ Millions)

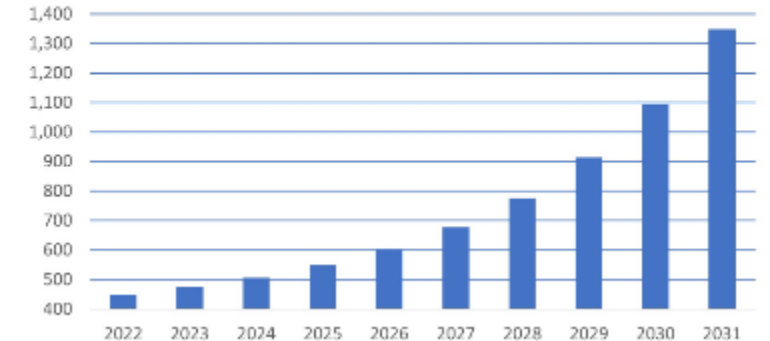


Source: IQT Research

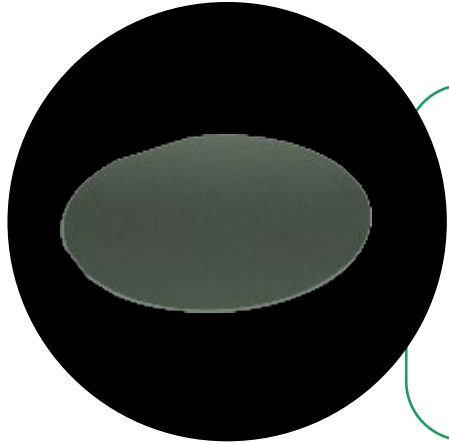
出所：Inside Quantum Technology社

量子センサ市場

Total Quantum Sensor Markets, 2022 -2031 (\$ Millions)



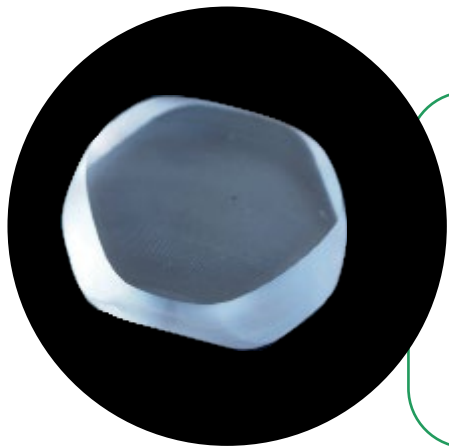
【パワー半導体】次世代パワー半導体材料



SiC単結晶

高耐圧 低損失 性能で

社会インフラを支える



SAM-GaN基板用単結晶

高速 高周波 性能で

情報インフラを支える



【パワー半導体】暮らしの中のパワー半導体

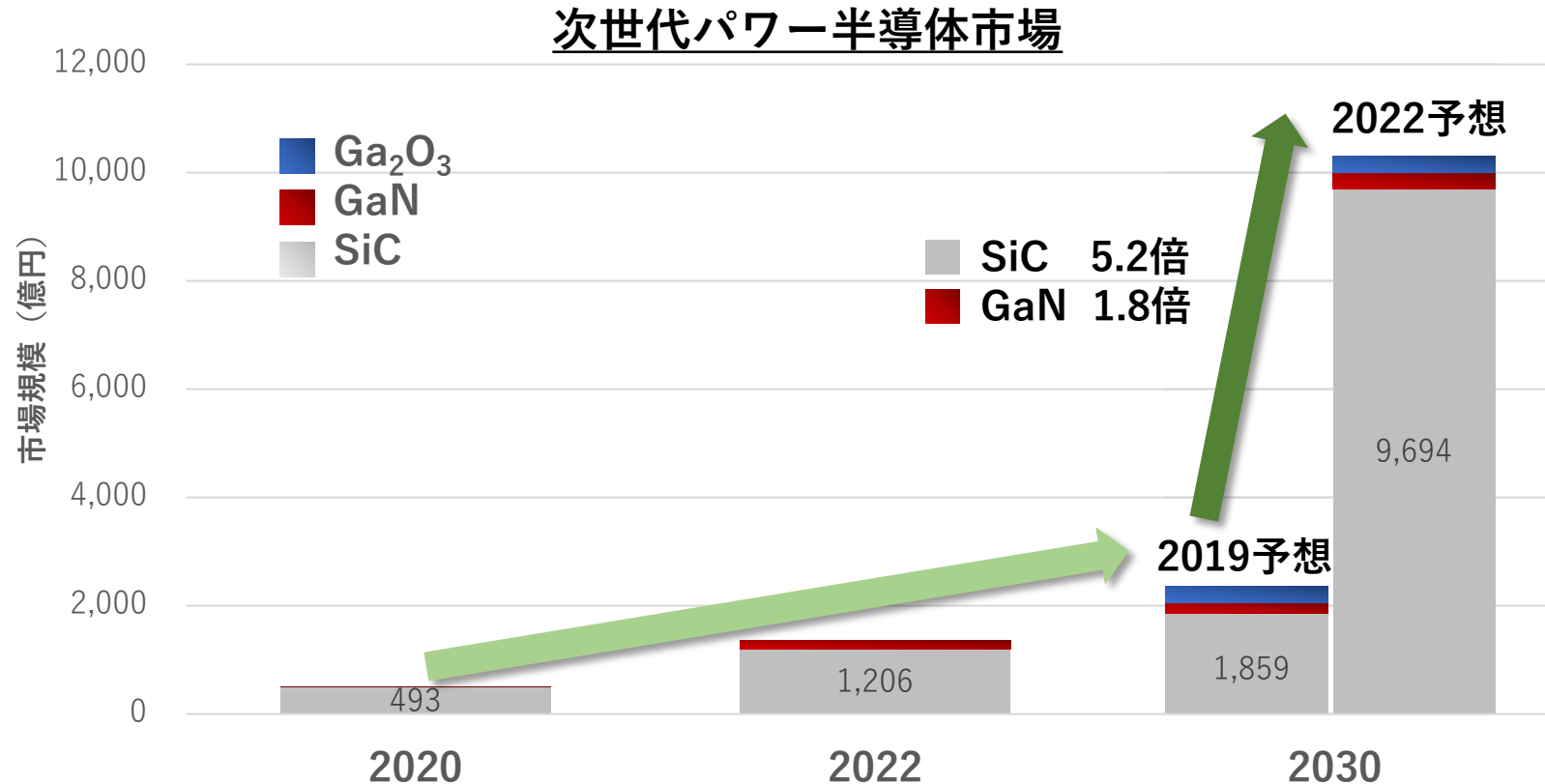
カーボンニュートラルを実現する

次世代のパワー半導体

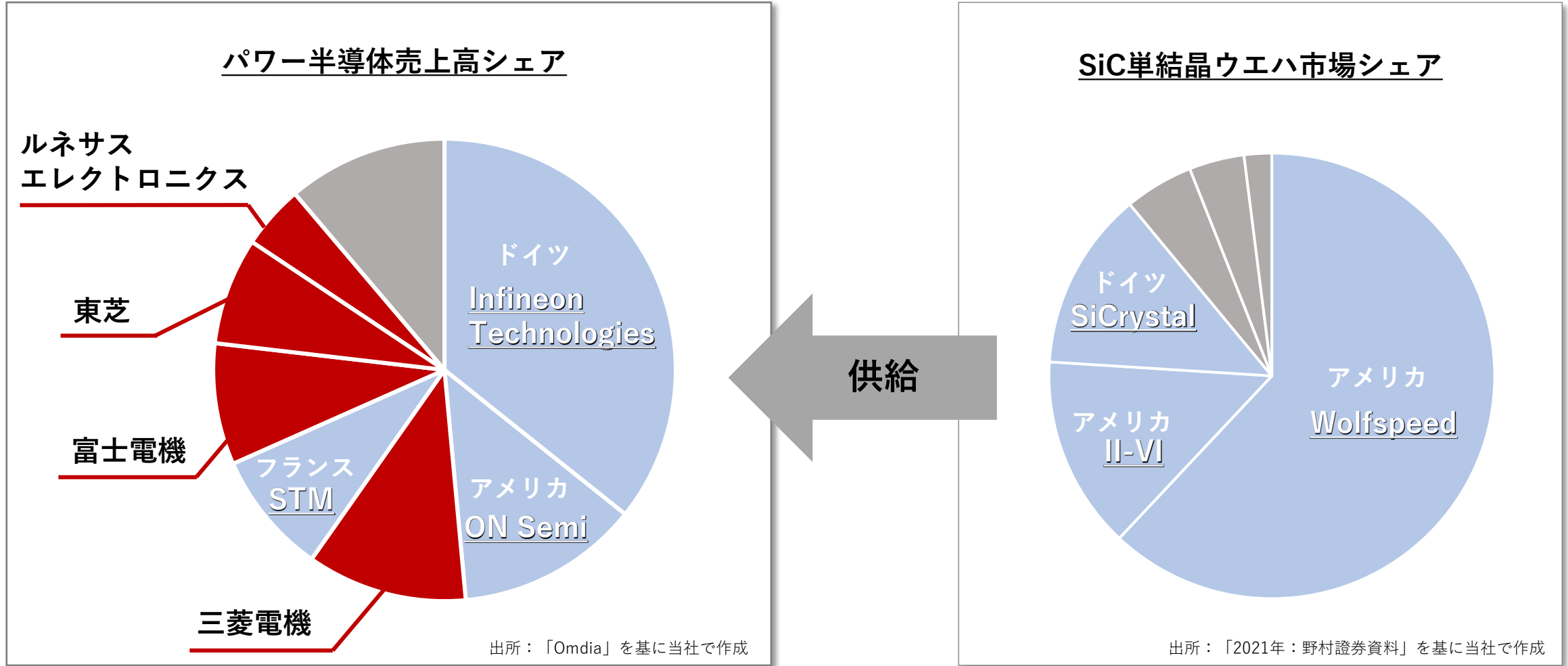


【パワー半導体】パワーデバイス市場の急成長

- パワー半導体市場が世界的に急成長しています。
- 2019年度のSiCデバイス市場予想が2022年度の市場予測では、5.2倍に上方修正されています。



【パワー半導体】 SiC単結晶ウエハ国内生産体制構築の重要性



■ 主要海外メーカー ■ 日系メーカー ■ その他

【パワー半導体】 SiC単結晶 グリーンイノベーション基金事業(GIF)

グリーンイノベーション基金事業、「次世代デジタルインフラの構築」プロジェクト
超高品質・8インチ・低コストSiCウエハ開発

事業の目的・概要

2030年までに、溶液法とプロセス・インフォマティクス技術を活用したSiC結晶成長技術の開発と、大口径SiCウエハ向け加工・評価技術の開発により、次世代パワー半導体向けの超高品質8インチSiCウエハをデバイスメーカーへ製造・販売して社会実装につなげる。

- ① 溶液成長法による超高品質SiCウエハの開発
- ② 大口径SiCウエハの加工・評価

事業規模等

当プロジェクト含む3プロジェクト合算

事業規模:約258億円
 支援規模*:約186億円

*インセンティブ額を含む。今後ステージゲートなどで事業進捗などに応じて変更の可能性あり。
 補助率など:9/10委託→2/3補助→1/2補助(インセンティブ率は10%)

コンソーシアム



【パワー半導体】 溶液法によるSiC単結晶育成のメリット

- 当社は、名古屋大学発スタートアップのUJ-Crystal社と共に溶液法によるSiC単結晶育成に取り組んでいます。
- 溶液法は、他の育成法である昇華法に比べて、欠陥の少ないSiC単結晶の製造可能と見込まれています。
- 昇華法で育成されるSiC単結晶はn型となりますが、溶液法ではn型とp型の両方が育成可能となり、用途が広がります。
- 低い温度で結晶成長が出来ることから、製造段階での省エネ効果が期待でき、環境に優しい育成方法です。

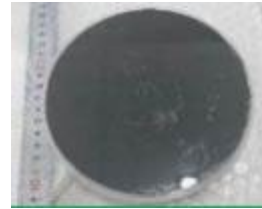
これまでの育成法

昇華法

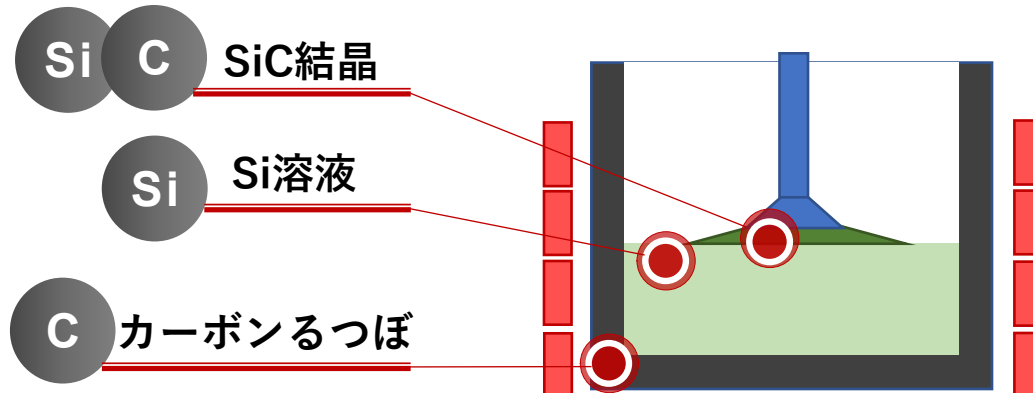


新育成法

溶液法



6インチSiC単結晶



大口径化

熱歪みが小さく大口径化が可能。

低欠陥密度

温度勾配が小さく欠陥が少ない。

成長スピード

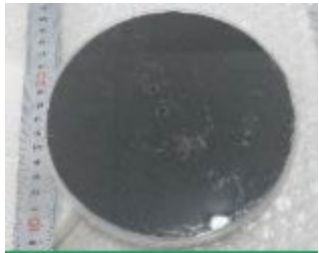
成長スピードは炭素の供給律速であり、温度勾配を必要としない。

低環境負荷

結晶成長温度が他の育成法と比較し低く、環境に優しい。

【パワー半導体】SiC単結晶開発における進捗

■ **コンソーシアムメンバーUJ-Crystal社と連携し、計画通り研究開発を進めています。**



6インチSiC単結晶

- ✓ 成長環境のAIによる機械学習手法を用い成長条件を最適化しました。
- ✓ 溶液法特有の欠陥を低減する条件を見出しました。
- ✓ この条件をベースに、長尺化、高速成長化を図ります。

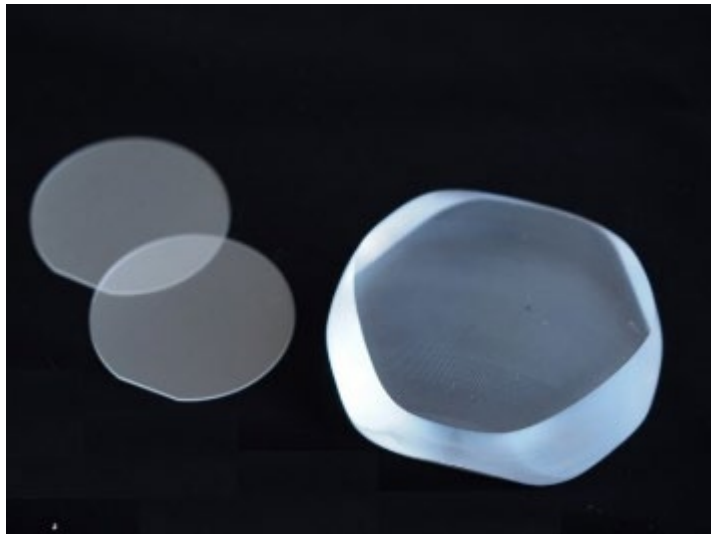


第5工場

- ✓ 山梨本社隣接地に、SiCの研究開発促進を目的とした第5工場が竣工しました。
- ✓ 育成装置を約10台導入し、開発を加速していきます。
- ✓ エンジニアを追加投入し、研究加速の体制を強化しました。

【パワー半導体】SAMの事業領域

- 当社が製造するSAM (ScAlMgO_4) は、パワー半導体(GaN)を成長させる基板材料として利用されます。
- また、SAMは、高輝度LED (InGaN)を成長させる基板材料としても期待されます。



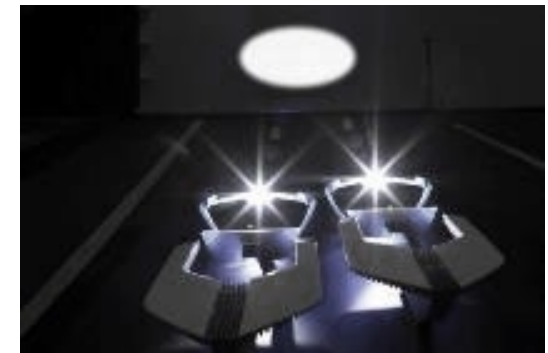
SAM GaN/InGaN基板用単結晶

期待される応用分野

パワー半導体 (GaN)



レーザー照明 (InGaN)



【放射能計測】次世代単結晶シンチレータ GPS

- GPS($\text{Ce:Gd}_2\text{Si}_2\text{O}_7$)は、高性能の次世代シンチレータ単結晶です。
- ヘルスケア事業の主力製品であるLGSOは放射線の中でも γ 線検出に適していますが、GPSは、 γ 線その他 β 線、 α 線といった放射線に対しても優れた検出性能を有します。
- 高い温度耐性を有し、従来のシンチレータでは対応できなかった環境下でも安定した測定が可能です。

期待される応用分野



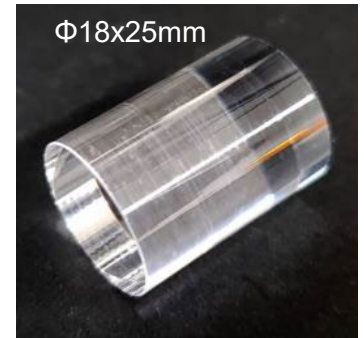
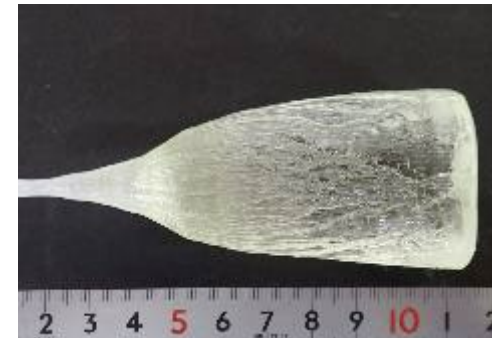
資源探査(放射能検層)

放射能汚染モニタリング






シンチグラフィ(診断装置)

研究開発活動



- ✓ 放射能汚染モニタ用途で顧客評価を拡大
- ✓ 顧客要求に合わせた大型結晶を開発中

【研究開発活動】 2023年2月期の進捗

製品	進捗
SiC単結晶	<ul style="list-style-type: none"> • UJ-Crystal社と研究開発につき連携 • 第5工場の建設が進み、研究開発体制を強化
GaN基板用単結晶	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客での評価中 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 10px 0;">  <div style="margin: 0 10px; text-align: center;"> <p>切断研磨加工</p>  </div>  </div> <p style="text-align: center; margin: 5px 0;">育成結晶 ウエハ製品</p> <ul style="list-style-type: none"> • 連携している大学（名城大学、京都大学）と共著で論文発表
量子通信デバイス	<ul style="list-style-type: none"> • LQUOM社と研究開発につき連携 • Raicol社の子会社化により量子分野で必要とされる結晶、デバイスのラインアップを強化

「宇宙・防衛」分野



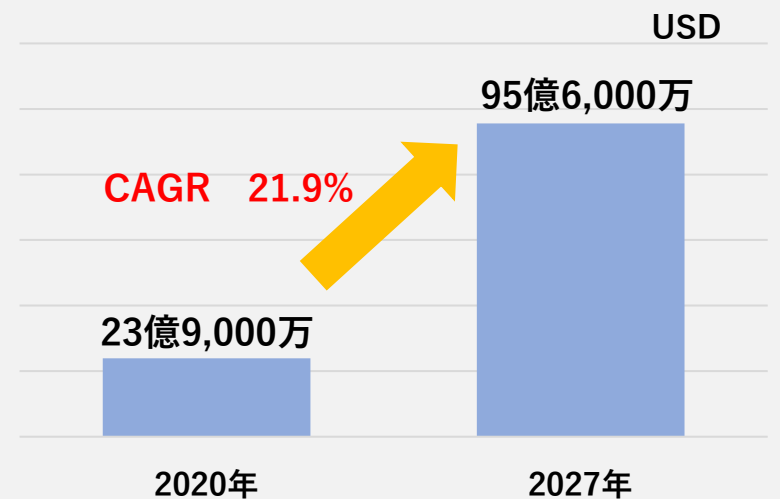
宇宙・防衛

主な用途：人工衛星用高度計
レーザレンジファインダー
レーザ照準器

製品：KTP結晶、RTP結晶



レンジファインダーの世界市場規模



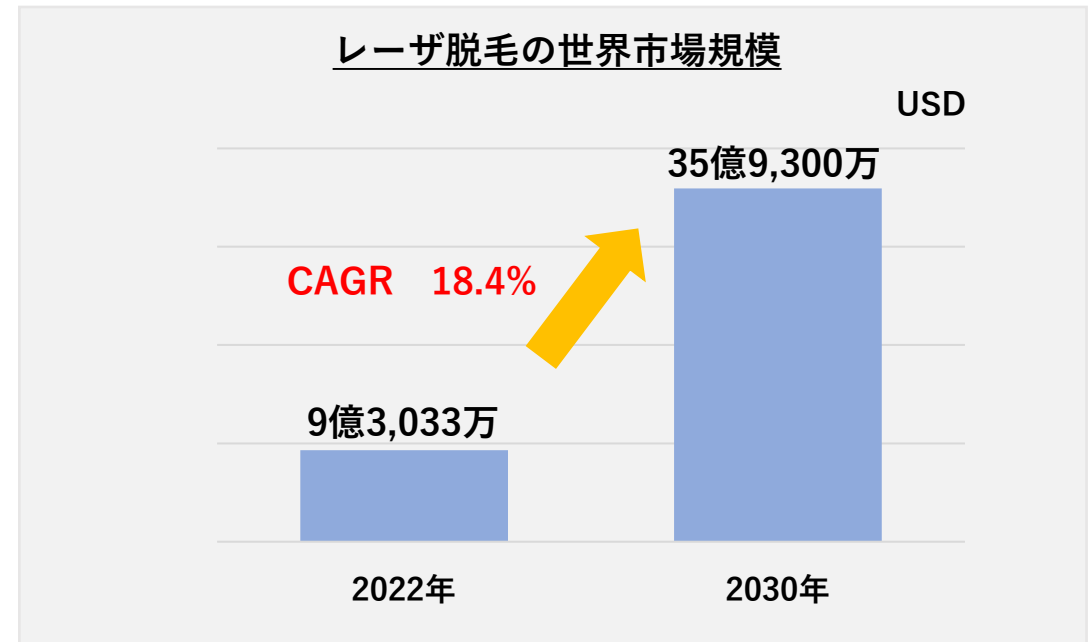
(出所:「REPORTOCEAN」の市場調査レポートを基に弊社にて作成)

「美容」分野



主な用途：脱毛用レーザー
皮膚の色素沈着治療用レーザー
タトゥー除去用レーザー

製品：KTP結晶、LBO結晶



(出所:「Grand View Research」の市場調査レポートを基に弊社にて作成)

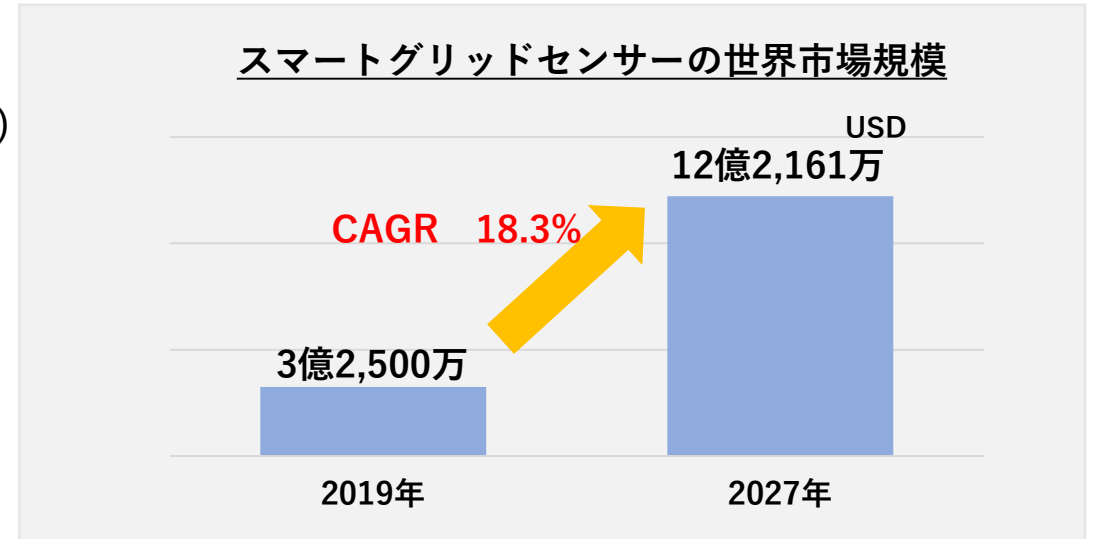
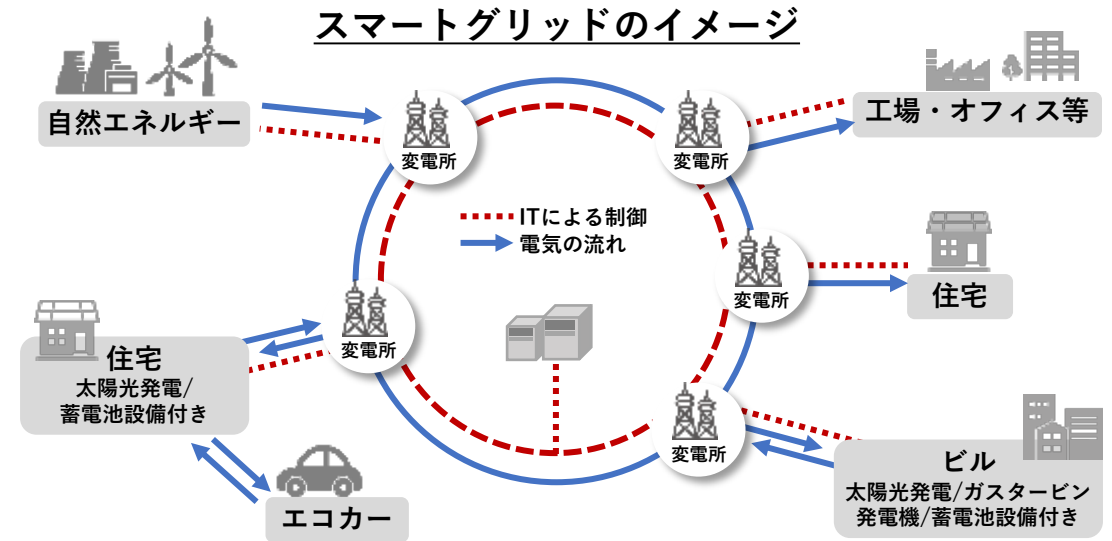
「エネルギー」分野



エネルギー

主な用途：スマートグリッド*における電界センサ（各送電線の電流計測用）

製品：RTP結晶

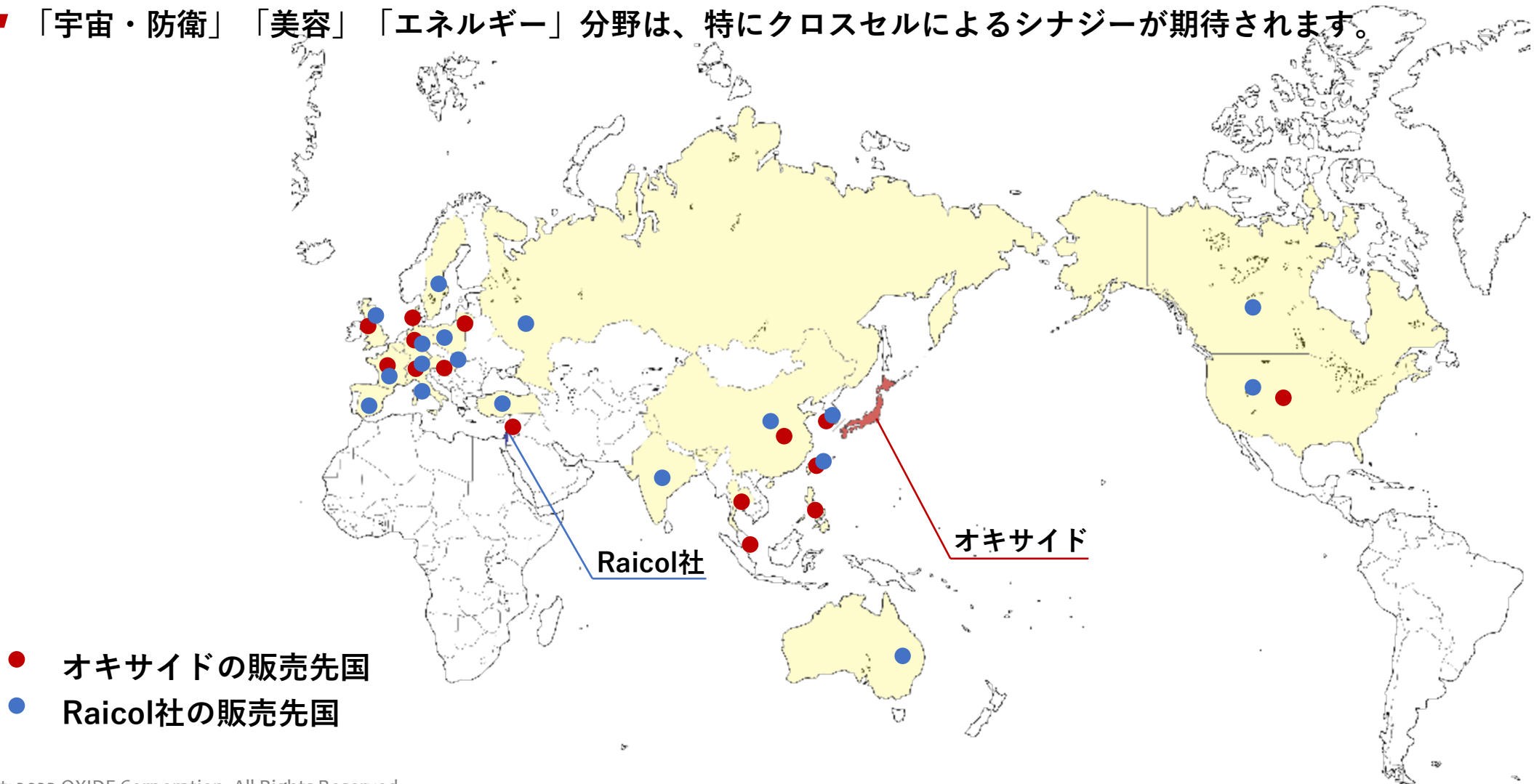


*「スマートグリッド」とは、電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化できる送電網のことです。「次世代送電網」とも呼ばれ、グリーンイノベーションの推進において重要な役割を果たします。

(出所:「株式会社グローバルインフォメーション」の市場調査レポートを基に弊社にて作成)

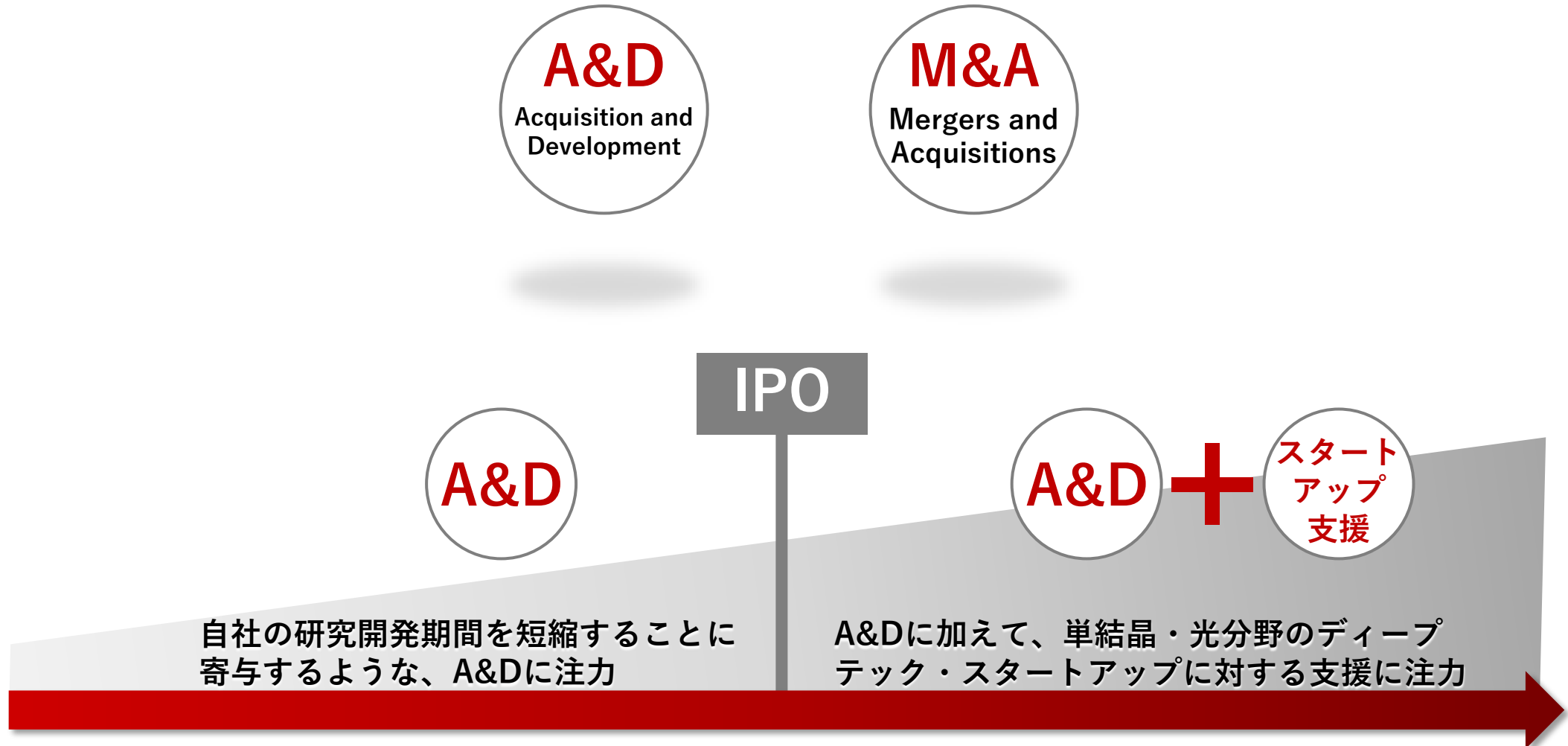
【ライコル社】クロスセルによるシナジー効果

- ライコル社では、既に欧州や米国を中心とした世界各地域で広い販路と様々な知見や経験を保有しています。
- 「宇宙・防衛」「美容」「エネルギー」分野は、特にクロスセルによるシナジーが期待されます。



- 
- 1 - 企業情報
 - 2 - 当社の強み
 - 3 - 事業ポートフォリオ
 - 4 - 事業の概要
 - 5 - M&A、
スタートアップ支援**
 - 6 - SDGs・地域共生
 - 7 - 財務・リスク情報

成長を加速させるA&D、M&Aへの取り組み



スタートアップ支援への取り組み

目的

当社は、大学や国研の優れた研究成果を世の中に還元することを経営理念に掲げ、研究成果の実用化と起業化支援を行いたいと考えています。

特徴

ディープテック分野で特有の基礎研究～社会実装期間の長さに注視し、事業ステージに応じた出資や支援策を検討しています。

名古屋
大学
発

UJ-Crystal社への出資

応用分野 パワー半導体(SiC単結晶)

ステージ 基礎研究、量産化

技術分野 単結晶育成技術

横浜国立
大学
発

LQUOM社への出資

応用分野 量子暗号通信

ステージ 基礎研究

技術分野 単結晶、波長変換技術

Clemson
大学
発

HTCS社への出資

応用分野 新材料

ステージ 基礎研究

技術分野 単結晶育成技術

NIMS発スタートアップの支援

- 当社は、国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)との間で覚書を締結し、NIMS発スタートアップの支援をすることとなりました。
- これまでに当社が培ったディープテック・ベンチャーの経営手法を還元することで、新技術や新材料の社会実装を目指します。

オキサイドとNIMS、スタートアップ支援に向けて連携覚書を締結

株式会社オキサイド(本社:山梨県北杜市武川町牧原 1747 番地 1 代表取締役社長 古川保典 以下「オキサイド」)と国立研究開発法人物質・材料研究機構(所在地:茨城県つくば市千現 1-2-1 理事長 宝野和博 以下「NIMS」)は、スタートアップ支援に向けた連携覚書を締結しましたのでお知らせします。

OXIDE



オキサイドとNIMSは、これまでも、NIMS発スタートアップに対する経営相談や、スタートアップ支援制度への助言などをNIMSがオキサイドから受けるという協力関係にありましたが、今回、両者がオキサイドのNIMSスタートアップ支援の覚書を正式に締結することになりました。今後、NIMSが持つ技術の社会実装をより加速させることを目指し、オキサイドはNIMSのシード技術の育成から会社設立後の経営サポートを積極的に行ってまいります。

オキサイドは、自身もNIMS発のベンチャー企業であり、ディープテック分野におけるスタートアップ固有の経営ノウハウを後進のスタートアップに還元することは社会貢献としての意味合いも強いと考えております。今回の連携により日本の基礎研究をベースにしたスタートアップが更に活躍し、テクノロジーを通して様々な社会課題を解決する一助になればと考えております。

またNIMSは、物質や材料科学の基礎研究・基盤的研究開発に特化した国立研究開発法人であり、材料科学分野では世界トップレベルの研究成果を創出しています。NIMSの研究成果からは、オキサイドを含めこれまで18社のベンチャーが創業されましたが、我が国の素材・化学産業の更なる発展を支えるべく、より一層の優れたスタートアップの創出とそのため支援強化が求められています。

今回の連携によりNIMS発ベンチャーであるオキサイドの過去20年にわたる成長と経営の経験ノウハウを新たなスタートアップに取り込むことで、新材料・新技術の社会実装を強力に後押しするだけでなく、素材・化学分野での新産業創出を推進してまいります。

2023年3月24日付当社プレスリリース





- 1 - 企業情報
- 2 - 当社の強み
- 3 - 事業ポートフォリオ
- 4 - 事業の概要
- 5 - M&A、
スタートアップ支援
- 6 - SDGs・地域共生**
- 7 - 財務・リスク情報

SDGsへの取り組み①

- 企業理念に基づき、社会課題を解決する製品開発を促進、社会の発展に貢献します。
- 当社は、SDGsへの取組としてオキサイド行動規範を策定し、持続可能な社会に向けて、世の中に役立つ技術・製品の開発を通じて成長を続けていきます。

当社のSDGsへの取り組み



環境負荷の低減・社会貢献・地域貢献

- ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開の更なる促進
- ・ CO₂排出量削減への取り組み
- ・ 寄付・ボランティア等を含む社会貢献活動への積極的な取り組み

良好な組織風土と多様な人材育成

- ・ メンタルヘルスへの対応、健康経営による組織の活性化への取り組み
- ・ 人材育成 3 years planプログラム計画

法令適応と環境管理体制の整備

- ・ 法令遵守の考え方の十分な浸透を図るための体制・仕組みの整備
- ・ 事業継続のためのリスク管理体制の整備

SDGsへの取り組み②

パワー半導体事業を通じたカーボンニュートラルな未来へ

■ グリーンイノベーション基金事業 「次世代デジタルインフラの構築」プロジェクト

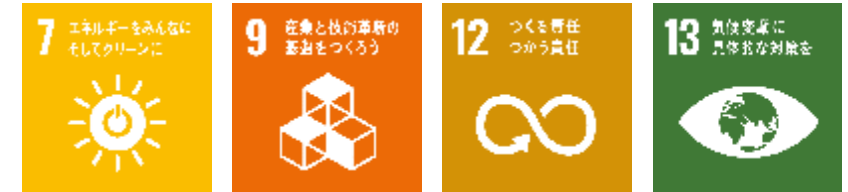
次世代パワー半導体向けの超高品質SiCウエハの研究開発を通じてカーボンニュートラルな未来を目指します。

■ 経済産業省GXリーグ基本構想への参画

当社は、基本構想に賛同し、カーボンニュートラルな社会と経済が両立できる未来の創造を目指します。



「GXリーグ」は、2025年カーボンニュートラルのサステイナブルな未来像を、政府と民間企業がともに議論し、市場創造・ルールメイキングをしていく場として2022年に設立しました。（※2023年4月から本格稼働）



SDGsへの取り組み③

多様な人材が活躍できる良好な組織風土の熟成

■ 女性活躍推進に取り組む企業として「山梨えるみんな」認定を取得



「山梨えるみんな」とは、山梨県が女性活躍推進に取り組む企業を独自認定する制度です。

当社の取り組みについて

平等な労働機会

当社は、性差を問わず能力や人柄など個性を重視した採用活動に取り組んでおり、すべての人に平等な労働機会が設けられています。

働きやすい環境づくり

当社は、労働時間をはじめとした働きやすい環境づくりに取り組んでいます。2021年度の実績では、時間外労働時間および休日労働の合計時間数の平均が各月すべて45時間未満となっています。

多様なキャリア形成

当社では非正規社員から正社員への雇用転換について、複数の実績があります。また、個人のライフスタイルに合わせた労働形態を選択することができます。



CSR活動

2023年2月期の活動実績

✓ 山梨YMCAインターナショナル・チャリティーランへの協賛

YMCAチャリティーランは、障がいのある子どもたちを支援するとともに、障がいへの社会的な理解と関心を高めることを目的とした駅伝大会です。当社はこの大会へ協賛しています。

✓ Mt.Fujiイノベーションキャンプへの協賛

Mt.Fujiイノベーションキャンプは、起業、新事業の展開を望む人向けのスタートアップの祭典です。当社のようなスタートアップ企業を支援する目的で協賛しています。

✓ 公益財団法人山梨みどり奨学金への寄付

山梨みどり奨学金は、家庭事情などで高校への就学が困難な子供たちを支援する奨学金制度です。

✓ 山梨の学校（武川小学校・北杜高校）への寄付

学校教育設備及び教育環境の充実を図り、子供たち一人ひとりが、のびのびと力を発揮する場を広げ、大きく成長するきっかけを作ることで、地域の次世代を担う人材を育成する環境を整えるための取り組みとして地元教育機関への寄付を行っています。

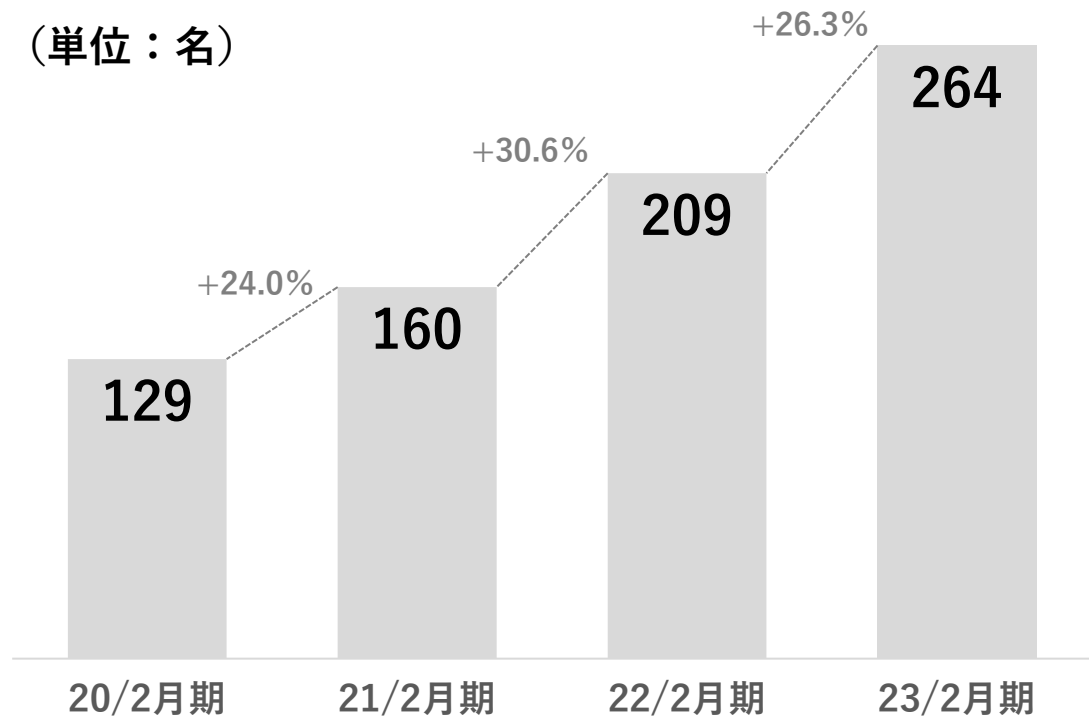




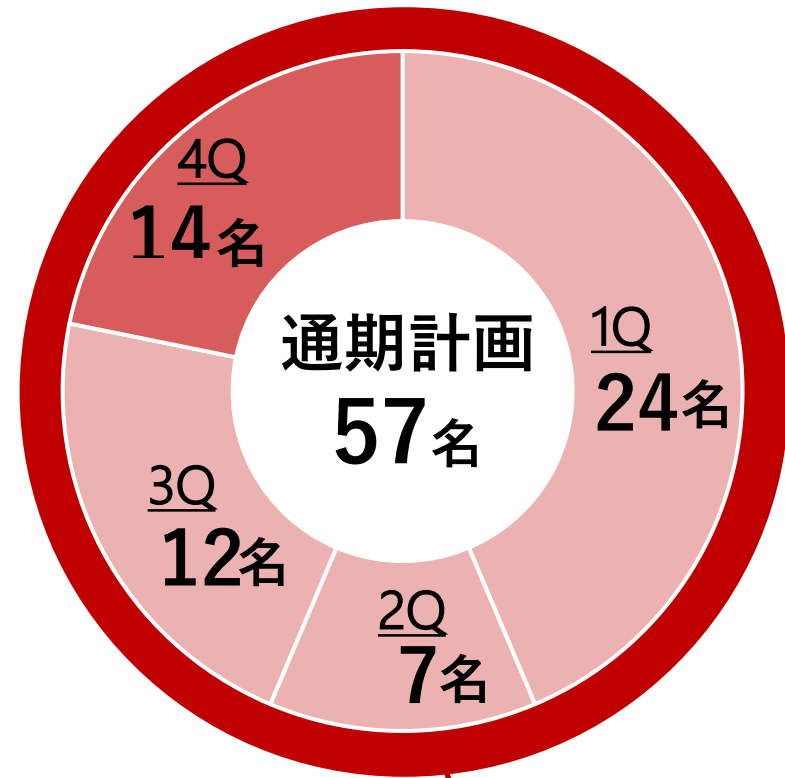
- 1 - 企業情報
- 2 - 当社の強み
- 3 - 事業ポートフォリオ
- 4 - 事業の概要
- 5 - M&A、
スタートアップ支援
- 6 - SDGs・地域共生
- 7 - 財務・リスク情報**

2023年2月期 計画に対する実績【人員】

■ 計画どおりの採用となり、主に半導体事業に配置しました。



期末従業員数

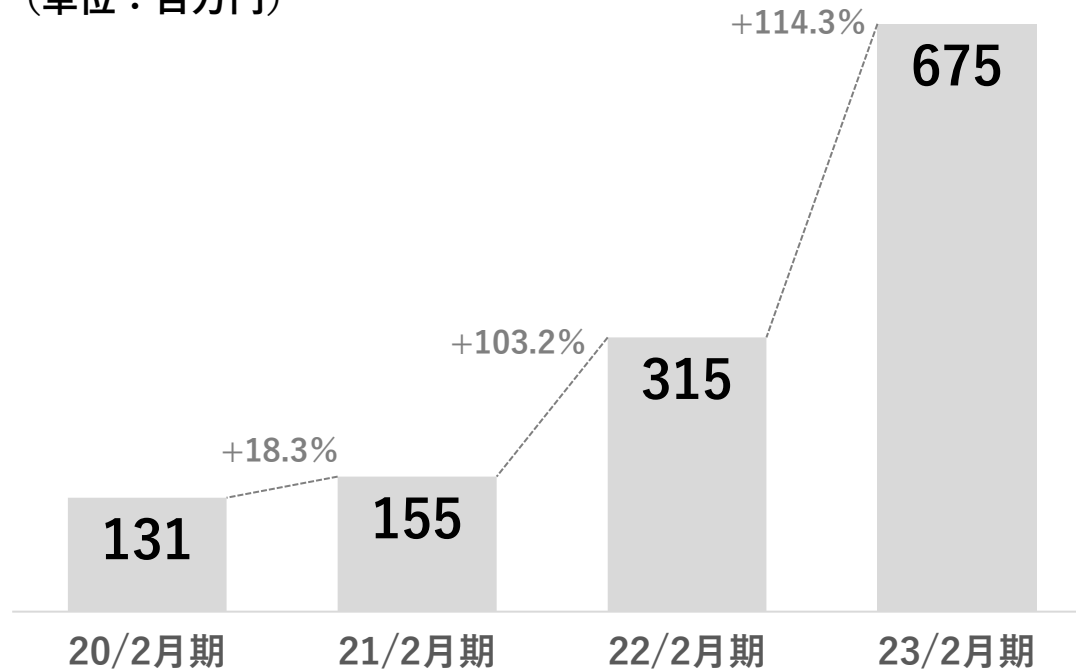


4Q累計実績：57名

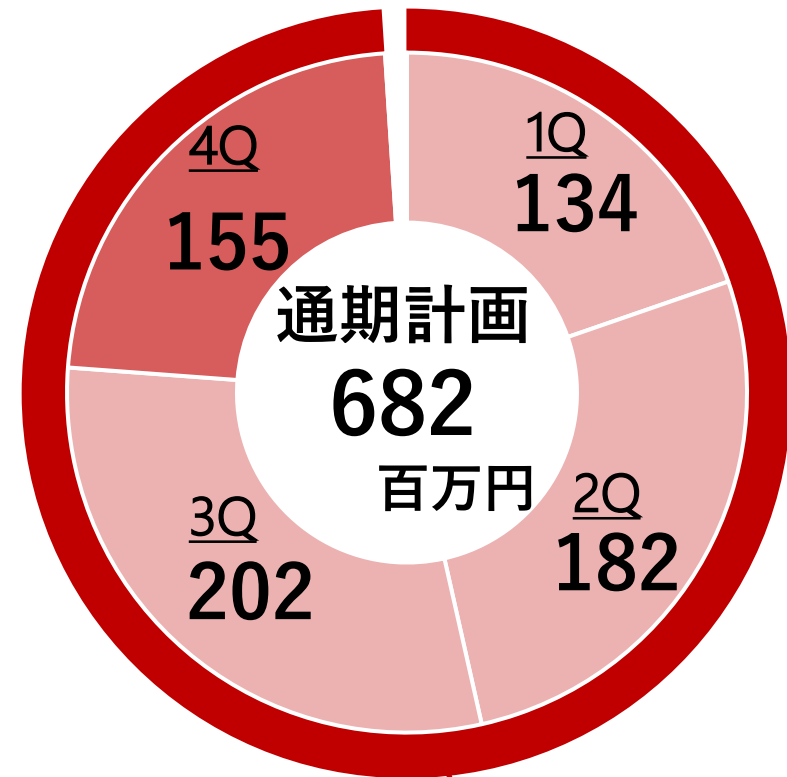
2023年2月期 計画に対する実績【研究開発費】

- 概ね計画どおりとなり、22/2月期比+114.3%の6億7,500万円を投入しました。主にパワー半導体関連の研究開発を強化しました。

(単位：百万円)



研究開発費

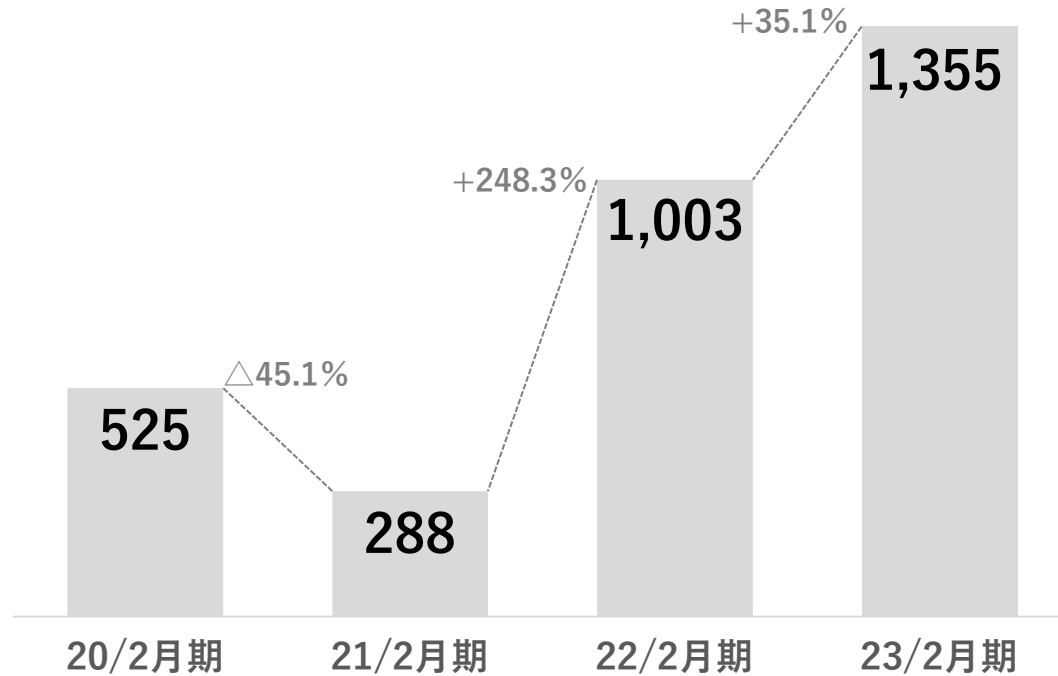


4Q累計実績：675

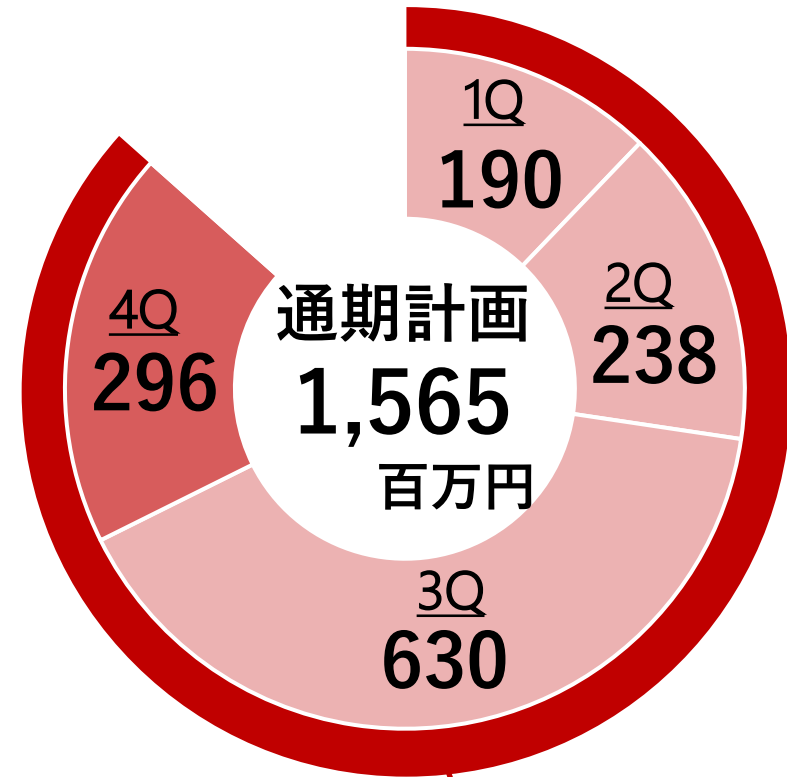
2023年2月期 計画に対する実績【設備投資費】

- 22/2月期比+35.1%の13億5,500万円を投入いたしました。
- 計画の一部は24/2月期の実行を予定しています。

(単位：百万円)



設備投資費



4Q累計実績：1,355

2024年2月期 業績予想（単体）

■ 売上高+26.8%、営業利益+26.8%、経常利益+37.4%を見込んでいます。

（単位：百万円）

	23/2期	24/2期				前期比	
		1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	5,752	1,315	1,718	2,011	2,250	7,294	+26.8%
売上総利益	2,279	368	650	788	971	2,777	+21.8%
販管費	1,742	582	506	518	490	2,095	+20.3%
うち研究開発費	675	243	196	205	170	813	+20.5%
営業利益	537	△214	144	270	481	681	+26.8%
営業外損益	150	85	△9	176	11	263	+74.9%
経常利益	687	△129	135	446	492	945	+37.4%
減価償却費合計	356	107	122	139	147	514	+44.3%

2024年2月期 業績予想（連結）

■ 2QよりRaicol社のPLが連結されます。営業利益は下半期偏重となります。

（単位：百万円）

						24/2期 (連結)	参考: 23/2期 (単体)
	1Q (単体)	2Q (連結)	3Q (連結)	4Q (連結)			
売上高	1,315	2,183	2,527	2,745	8,773	5,752	
売上総利益	385	890	1,053	1,222	3,554	2,279	
販管費	576	655	693	679	2,603	1,742	
うち研究開発費	242	256	289	252	1,039	675	
連結に伴う追加費用(※)	38	145	145	147	476	—	
営業利益	△229	90	215	395	471	537	
営業外損益	68	△34	158	△11	181	150	
経常利益	△161	56	373	384	652	687	

1 米ドル=130 円、1 新シェケル=37.7 円で算出しております。

※連結に伴う追加費用は、のれん償却費(206百万円)、株式報酬費用(158百万円)、PMI関連費用(68百万円)、会計基準差異(43百万円)となります。

経営指標

経営指標

■ 売上高成長率：20%

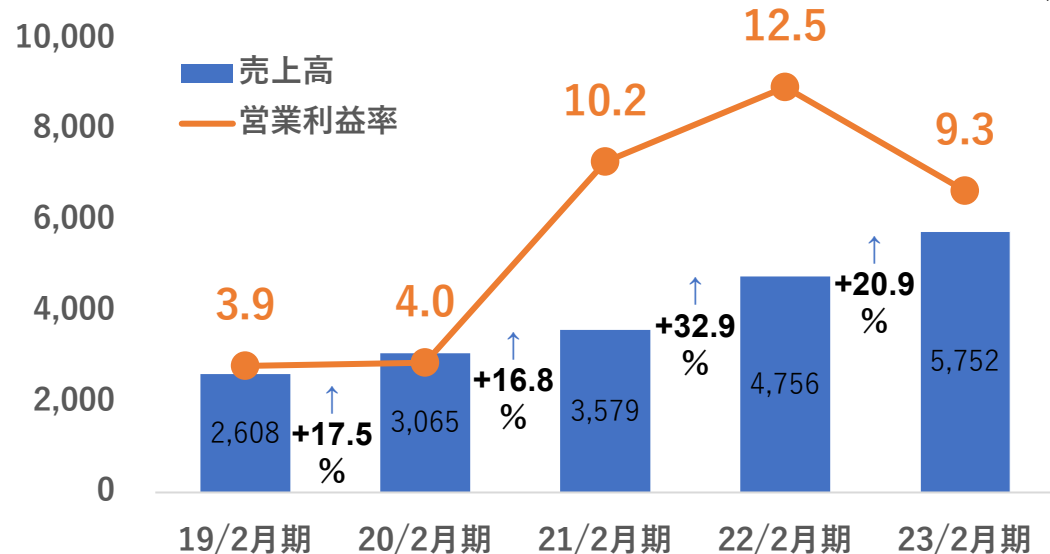
当社は創業後の22年間、概ね5年毎に約2倍の増収を実現しています。今後も同様の成長率を維持・向上することが重要と考えており、売上高成長率を経営指標としています。

■ 営業利益率：10%

日本の製造業の経営分析をする上で広く利用されている指標の為、営業利益率を経営指標としています。

実績

(単位：百万円)



(単位：%)

23/2月期 予想値 (2022/4/13公表) との乖離要因

■ 売上高成長率 (予想33.3%、実績20.9%)

半導体事業において、3Qに一部の調達部材の合格率が低下し、レーザ製品の売上が停滞したことにより、約4億円下振れしました。

ヘルスケア事業において、主要顧客の在庫生産調整により、4Qの売上高の伸びが限定的となりました。

その結果、売上高成長率は予想を12.4ポイント下回り、20.9%となりました。

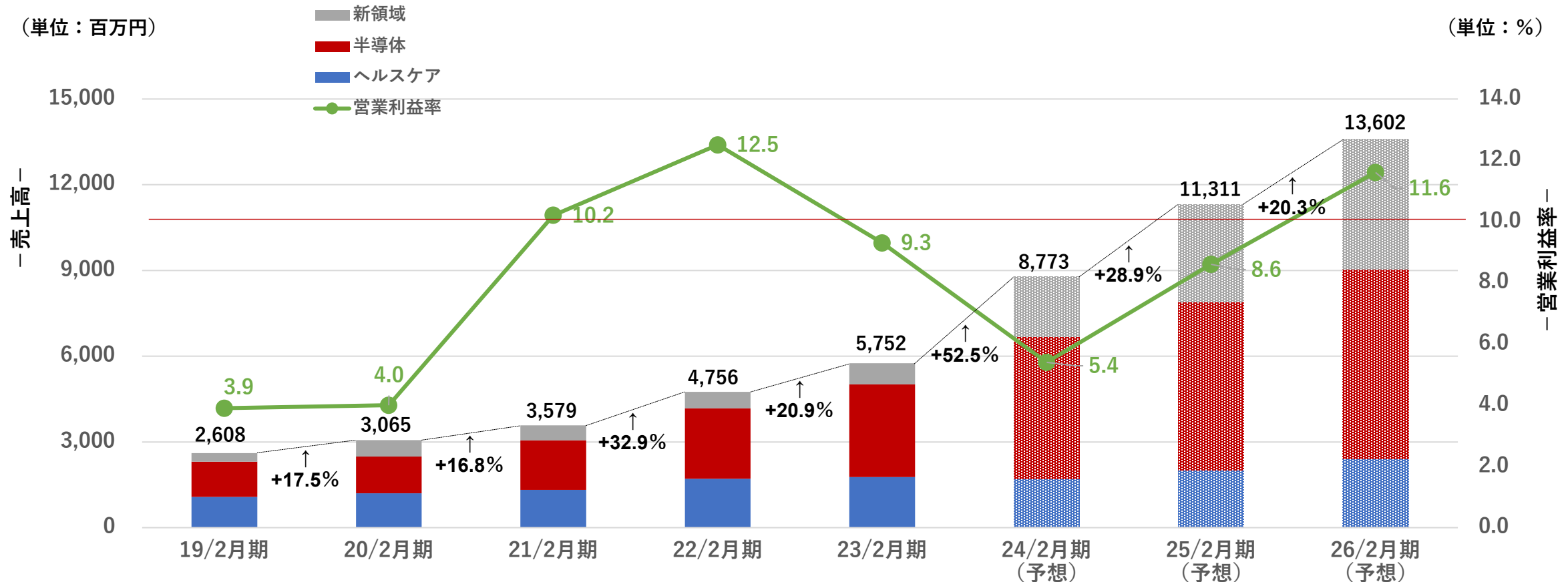
■ 営業利益率 (予想11.1%、実績9.4%)

1Qおよび2Qは、半導体事業における生産性の向上。およびヘルスケア事業における原材料価格高騰に伴う在庫評価額引上げにより、営業利益率は増加しましたが、3Qに発生した調達部材の合格率低下の影響を最小限に抑えて生産を継続させるため、調達数量を増加させたことにより、利益率は大きく低下しました。

その結果、営業利益率は予想を1.7ポイント下回り、9.4%となりました。

中期(2024年2月期～2026年2月期)経営計画 (連結)

- 24/2月期は大幅な増収(過去最高)を予想しております。
- 半導体事業では、設備投資の効果により増収が期待されます。
ヘルスケア事業では、がん診断PET用は安定成長の一方、認知症診断PET用の成長寄与を一部見込んでおります。
Raicol社の事業を含む新領域事業の拡大が、全社の増収に寄与する見込みです。
- 24/2月期の営業利益率はM&A関連費用により低下しますが、26/2月期には10%超を計画しております。

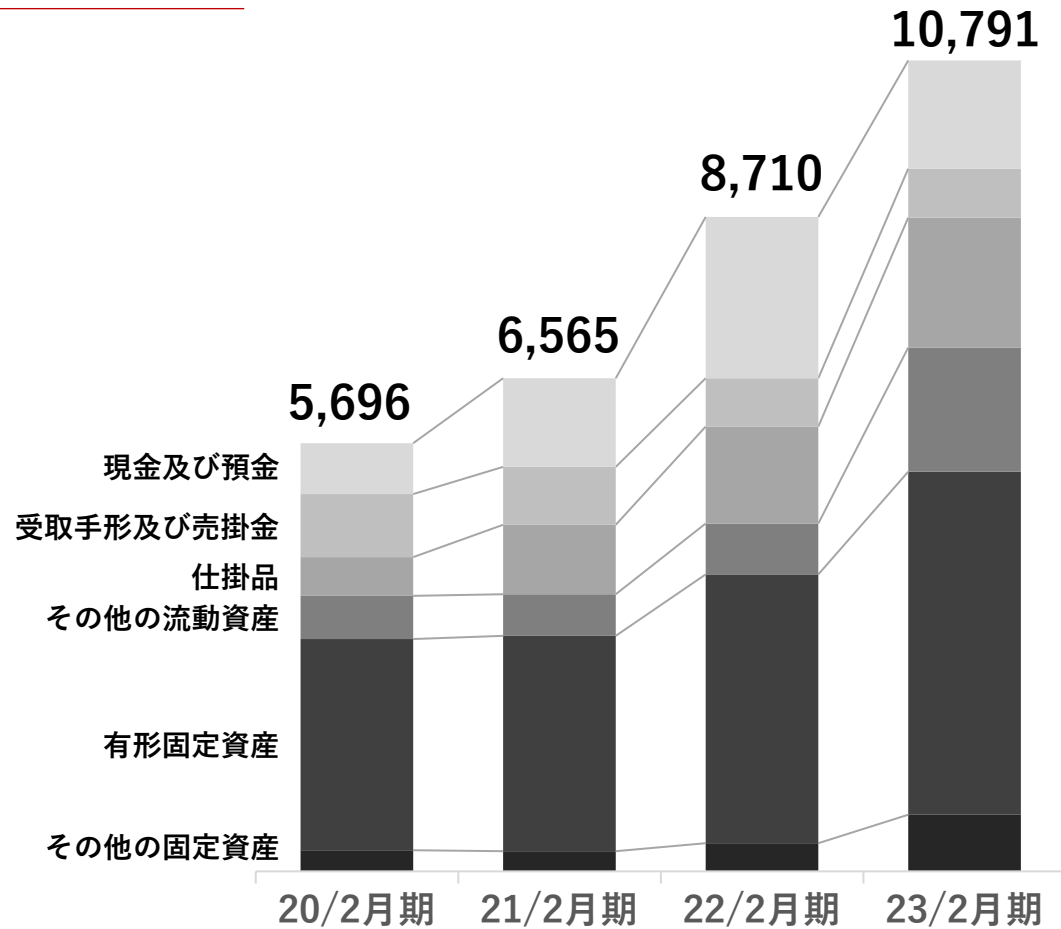


貸借対照表

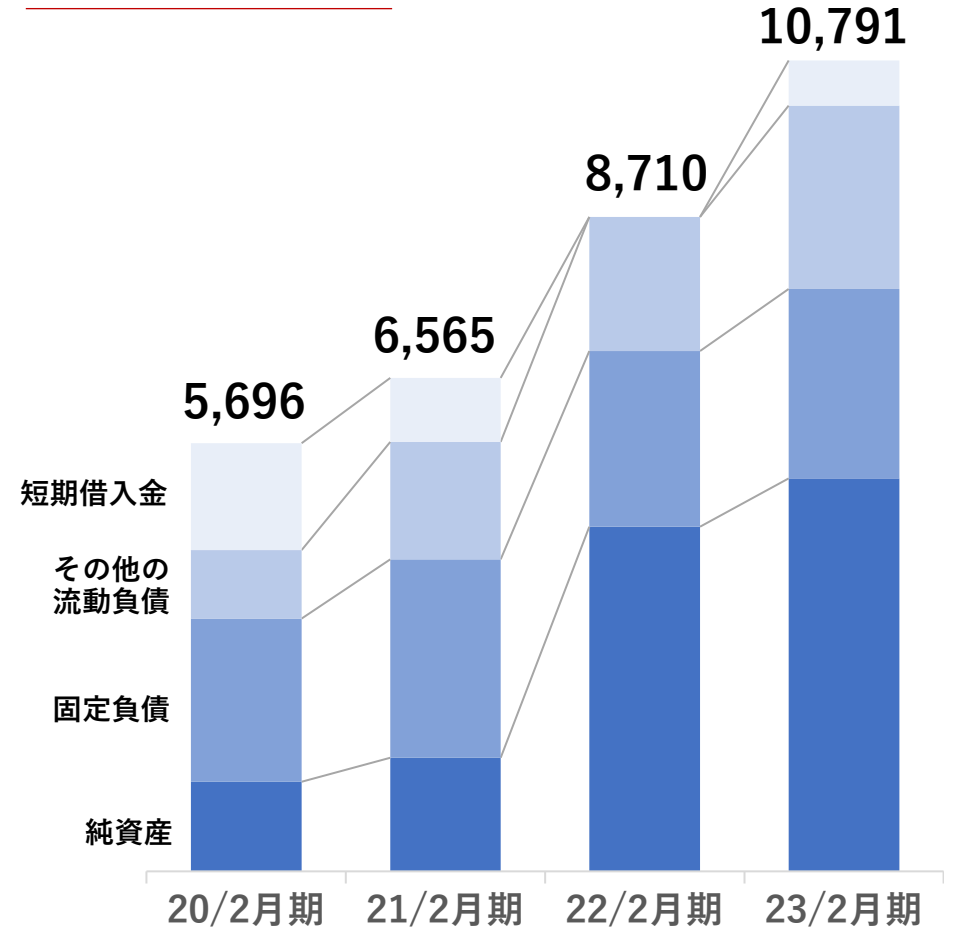
■ 総資産は20億8,100万円増加しています。

(単位：百万円)

資 産



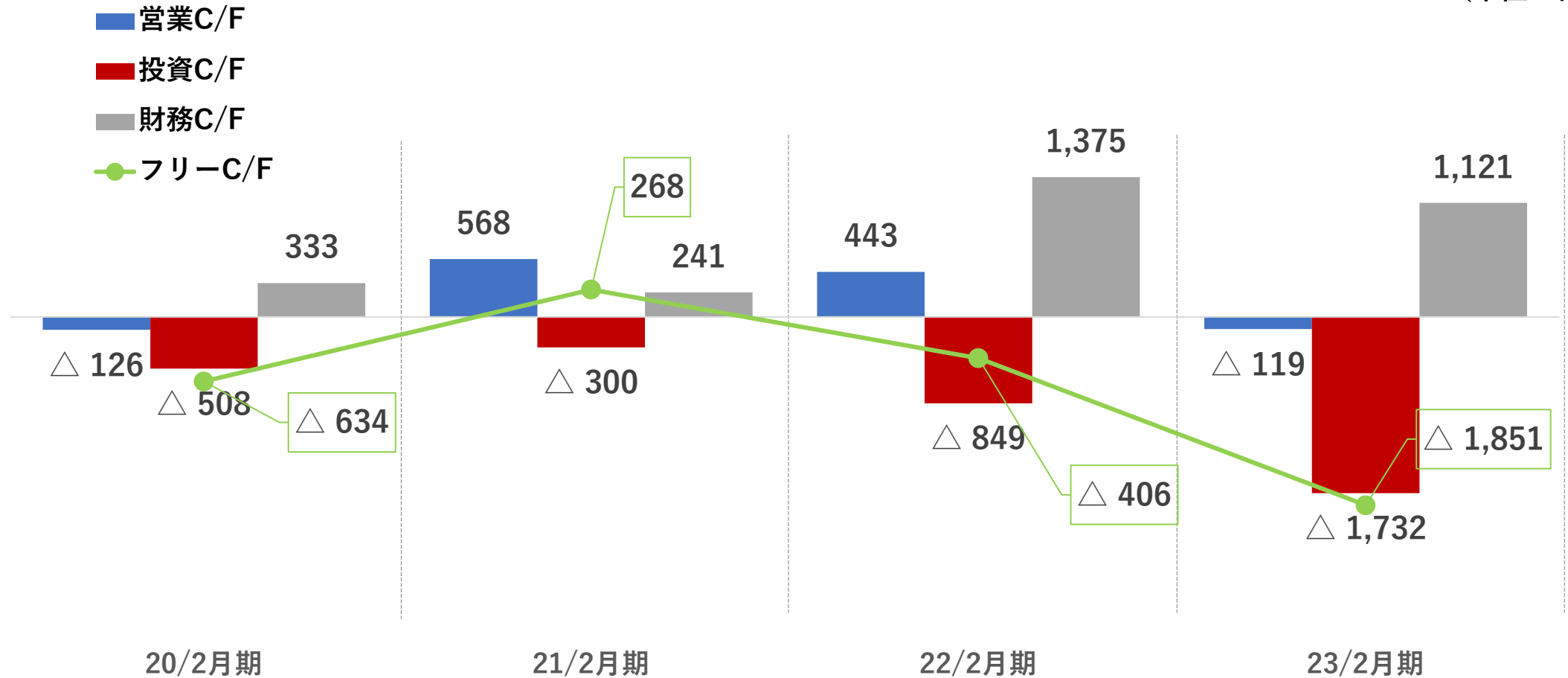
負債・純資産



キャッシュフロー

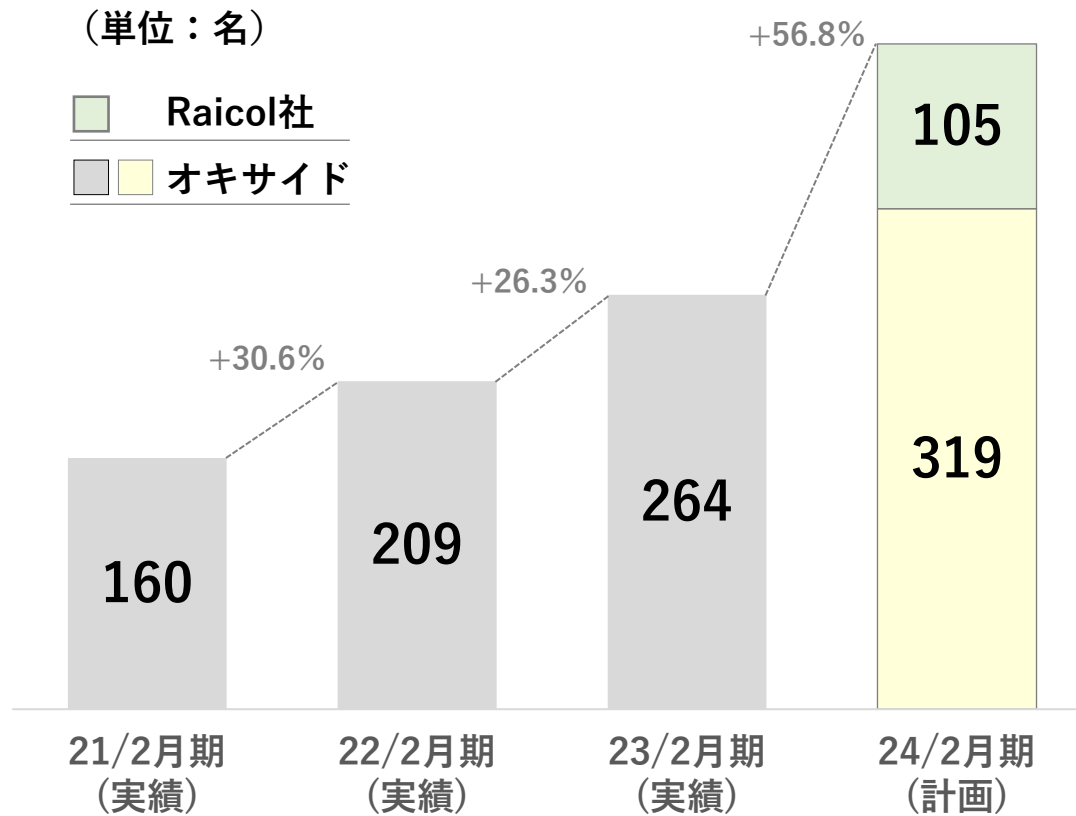
■ 営業CFと投資CFのマイナスを賄うため、財務CFをプラスとしました。

(単位：百万円)



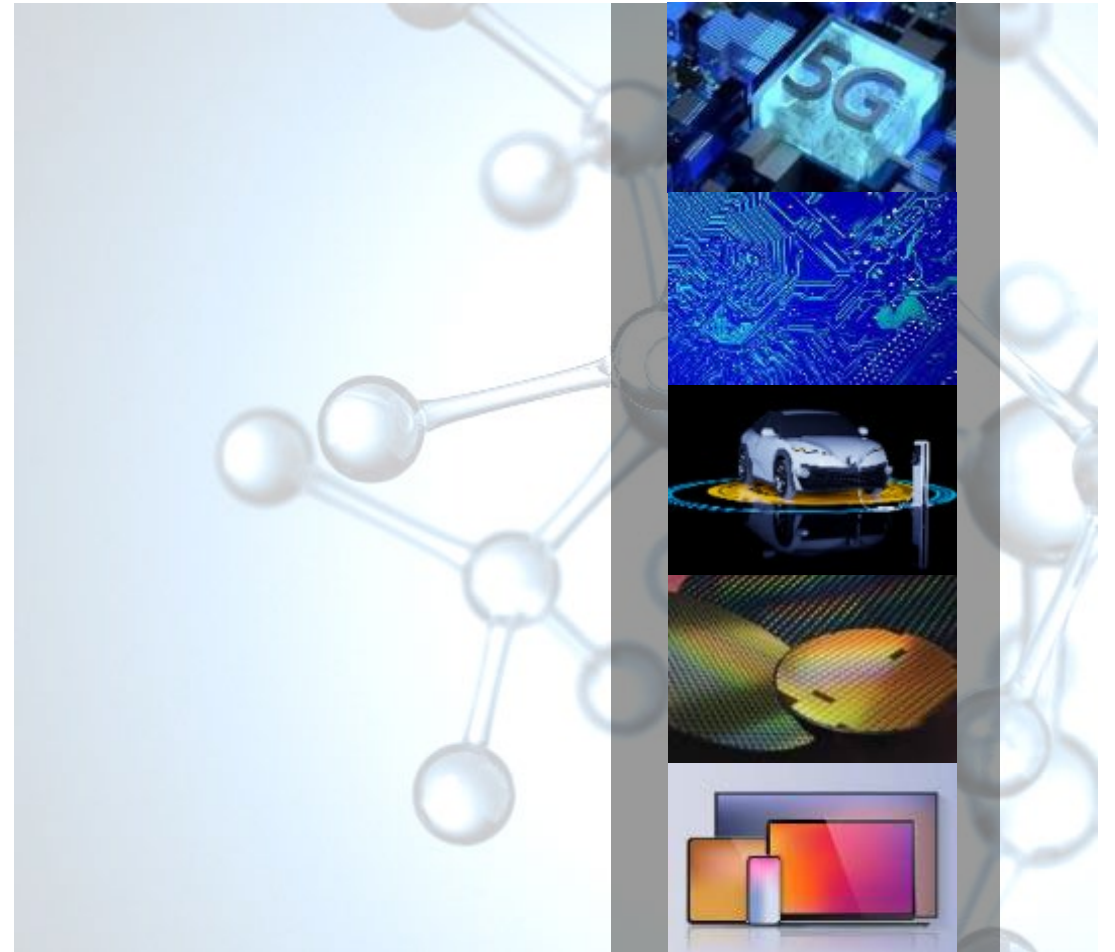
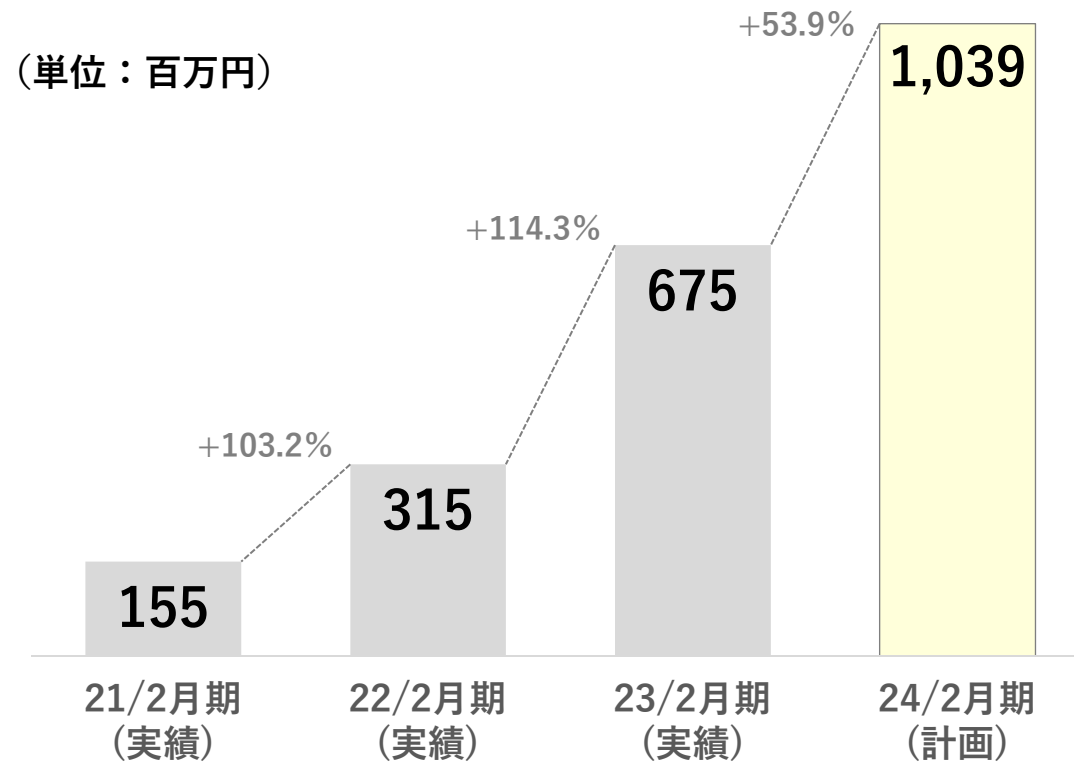
【人員】（連結）

■ 24/2月期は、65名の増員を計画しています。半導体事業の人員を増強してまいります。



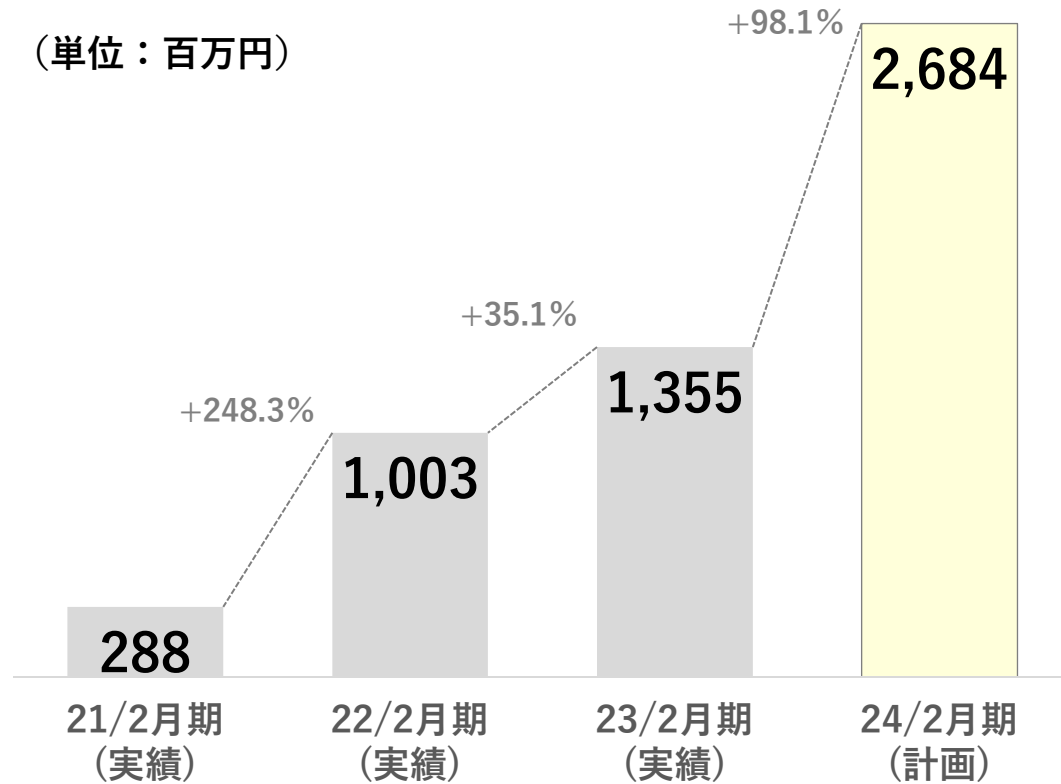
【研究開発費】（連結）

■ 24/2月期は、10億3,900万円の研究開発費を計画しています。



【設備投資費】（連結）

■ 24/2月期は、26億8,400万円の設備投資費を計画しています。



上場時における調達資金の用途

(2023年2月28日現在)

- 上場時の株式新規発行による手取金は、当初計画通りの用途に充当しています。
- 第4工場への投資は、工場建設用資材納期延伸により一部遅延しています。

(単位：百万円)

資金用途	充当予定金額	充当期期と金額		
		2022年 2月期	2023年 2月期	2024年 2月期
第3工場	500	500	—	—
第4工場	1,223	0	334	889 (予定)
合計	1,723	500	334	889

※実際の充当期期までは、安全性の高い金融商品等で運用していく方針です。

リスク情報 (1)

当社事業の成長を阻害する特に重要なリスク要因として、以下が考えられます。

顧客動向によるリスク

発生可能性	高	影響度	大	リスク評価/前期比	特に重要/同水準
リスクの内容	当社の顧客層は、医療機器、半導体、レーザなど世界各地のメーカーに広がっております。さまざまな産業セクターへの営業活動を行い、これら顧客企業の個別の経営状態の変動による影響を極小化する努力をしております。しかしながら大幅な為替変動や、地政学的要因などにより、それらの産業全体が業績に悪影響を被る場合があります。当社が提供する製品需要は、常に次世代製品の先行開発投資に追随する性格のものであり、顧客企業での次世代投資、製品転換が遅れることで当社の財政状態及び業績に悪影響を及ぼす可能性があります。				
対応策	当社は医療機器、半導体、レーザなど、幅広い産業セクターへ製品を提供することを強みとしていることから、国内外における経済動向の変化に対して特定の産業に依存しない事業ポートフォリオを更に強化することにより、リスク分散に努めてまいります。				

特定の取引先への依存リスク

発生可能性	高	影響度	大	リスク評価/前期比	特に重要/同水準
リスクの内容	当社の2022年2月期、2023年2月期の販売先は、120社超ありますが、そのうち、特定の6取引先に対する売上が、80%超となっております。このため、これらの取引先において事業方針・外注政策に関する変化や業績悪化等が発生し当社との取引額が減少した場合に、当社の財政状態及び業績に影響を及ぼす可能性があります。				
対応策	当社は事業計画の達成及び将来成長に向けて、顧客ポートフォリオの整理と重点顧客の明確化を継続して行っております。当事業年度においては、2023年2月期の売上高に占める特定6取引先の割合は、前年度に対し0.2ポイント減少いたしました。特定6取引先への売上高を拡大しつつ、継続的に新たな用途の市場創造、市場参入及び新規顧客開拓を実施することによりその他の重点顧客の売上高をさらに拡大し、特定の取引先への依存リスクを低減させながら全体の売上高を拡大していくことを目指しております。				

リスク情報 (2)

資材調達によるリスク

発生可能性	高	影響度	大	リスク評価/前期比	特に重要/上昇
リスクの内容	<p>当社は、さまざまな原材料や光学部品等を購入して使用していますが、その中には特殊な原材料や部品も含まれています。重要なものは複数ベンダーによる購買や在庫積み増し等の対策を講じて安定製造、安定供給に努めていますが、一部代替が利かないものも存在します。特に、ヘルスケア事業でシンチレータ単結晶の製造に使用する酸化ルテチウムの産出国は中国、オーストラリア等であり、当社は中国から調達しております。従って、中国の国家政策等により、その調達に問題が発生した場合には、生産計画に支障が生じ、当社の財政状態及び業績に悪影響が及ぶ可能性があります。また、半導体事業の主要製品であるレーザの一部部材については当社が求める品質の部材を製造できる企業は国内外でもわずかであるため、当該部材の確保ができなくなった場合には機会損失が発生する可能性があります。また、品質水準を満たす部材を確保できない場合には、歩留率の悪化を招く恐れがあり、これに伴う原材料費の上昇を販売価格へ転嫁できない場合は、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。</p>				
対応策	<p>複数ベンダーによる購買、商社等を通じた調達市場動向の早期把握、また在庫積み増し等の対策を講じて安定製造、安定供給に努めております。仕入先が限定される主要部材については、仕入先との綿密な調整など連携強化を図るとともに、調達仕様の見直しや仕入状況の定期的なモニタリングにより、サプライチェーンの安定的な確保に向けた取り組みを推進してまいります。</p>				

原材料価格の変動によるリスク

発生可能性	高	影響度	大	リスク評価/前期比	特に重要/同水準
リスクの内容	<p>当社が製造で使用する原材料の中で、ヘルスケア事業にてシンチレータ単結晶の製造に使用する酸化ルテチウムは、レアアースであります。レアアースの価格は変動が大きく、価格の変動を販売価格に転嫁できない場合には、当社の財政状態及び業績に悪影響が及ぶ可能性があります。</p>				
対応策	<p>経営会議や取締役会等においてレアアースの価格動向の把握に努めており、仮に価格変動の予兆を検知した場合には、原材料の前倒し仕入れ等の経営判断を遅滞なく行う体制を構築しております。また原材料価格の上昇を販売価格に転嫁する仕組みの構築も合わせて進めております。</p>				

リスク情報 (3)

海外事業展開に関するリスク

発生可能性	高	影響度	大	リスク評価/前期比	特に重要/上昇
リスクの内容	<p>材料・部品の調達及び当社製品の輸出等において海外との商取引を行っております。当事業年度における売上高のうち、約74%が海外売上高となっております。当社の主要な販売国は、米国となっておりますが、今後中国を含むアジア各国との取引が増勢となることを見込まれ、従って、取引先所在国において、予測し得ない税制や法規制などの急激な変更、政治・経済情勢の混乱、テロ・紛争などの勃発、自然災害などによるリスクが顕在化した場合、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。特に、米中貿易摩擦により、今後米中間の関係悪化が進み、中国への製品出荷が困難になる場合、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。</p>				
対応策	<p>定期的に事業の状況をモニタリングし、国際情勢、海外経済情勢の変化等によるリスクを踏まえたうえで事業戦略の見直しを定期的実施するとともに、経営会議や取締役会等において販売対象地域の状況把握に努めており、情勢の変化に適切に対応しております。</p> <p><ウクライナ情勢について></p> <p>当社はロシア・ウクライナに拠点を有しておらず、また同地域向けの事業も手掛けておりません。当社の主要顧客においても同地域関連事業が大きな比重を占めている状況にはないものと認識しております。従いまして、現時点でウクライナ情勢が当社の事業及び業績に大きな影響を及ぼす可能性は低いと判断しております。</p>				

のれんの減損に関するリスク

発生可能性	中	影響度	大	リスク評価/前期比	重要/一
リスクの内容	<p>当社は2023年3月にRaicol Crystals Ltd.の株式を取得し、現在同社は連結子会社となっております。この企業買収に伴い、のれんが発生しますが、今後、業績が株式取得時の計画を下回るなどにより超過収益力が著しく低下した場合は、のれんの減損損失の計上により当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。</p>				
対応策	<p>当社では、企業買収に関して、事業戦略との整合性、市場等の動向、事業リスク、投資金額及び投資計画の妥当性等について多角的かつ全社的な視点に基づき、取締役会で十分な審議を行ったうえで意思決定を行っております。また、買収後は、技術あるいはマーケティング等各部門での戦略的会議を定期的に行うことによって連携の強化を図るとともに、当社役職員がRaicol Crystals Ltd.ボードメンバーの一部として経営に参画して管理及び事業の推進体制を整えることによって、リスクの軽減に努めております。</p>				

リスク情報 (4)

為替の変動に関するリスク

発生可能性	中	影響度	大	リスク評価/前期比	重要/上昇*
リスクの内容	<p>当社は、一部の海外との取引において日本円以外の通貨を用いて行っております。当該通貨の急激な為替変動があった場合には、当社の事業に影響を及ぼす可能性があります。また、連結子会社であるRaicol Crystals Ltd.は、現地通貨新シュケルで決算を行っており、当該通貨の急激な為替変動があった場合には、決算の連結において貸借対照表、損益計算書等に影響を及ぼす可能性があります。</p> <p>*当社における海外との取引の場合、円安は利益を増加させる傾向にあるため、今般の円安傾向は業績にプラスの影響がありますが、不安定な為替相場が事業に及ぼす影響という点でリスク水準は低減していないため、前期比同水準と判断しております。一方で、連結子会社であるRaicol Crystals Ltd.の資産負債、特に売上高や損益等は、現地通貨の変動に影響を受けることになるため、リスクは前期比上昇していると評価しております。</p>				
対応策	<p>当社における海外との取引の場合は、主要な取引先とは円建てで取引を行っております。また、経営会議や取締役会等において、為替動向の把握に努めており、仮に財政状態や業績に悪影響を及ぼす予兆を検知した場合には、遅滞なく経営判断を行う体制を構築しております。また、連結子会社であるRaicol Crystals Ltd.については、リスクヘッジ方針に沿って適切な管理を継続し、リスクの低減を図ってまいります。</p>				

なお、その他のリスクは、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

本資料の取り扱いについて

- 本資料には、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報をもとに、本資料の作成時点における当社の判断に基づいて記載したものであり、また、一定の前提（仮定）の下になされています。そのため、これらの記述または前提（仮定）は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の結果はこれと大きく異なる可能性があります。
- 本資料に記載されている当社以外に関する情報は、公開情報または第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。
- 本資料は、当社の企業説明に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の販売や購入を勧誘する目的で提供されるものではありません。
- 次回の「事業計画及び成長可能性に関する事項」は、2024年4月の開示を予定しています。

A close-up image of a blue and gold semiconductor chip with intricate circuit patterns.

半導体

A blue-tinted illustration of a human torso showing internal organs like the heart and lungs.

医療

A white car shown from a front-three-quarter view, with a yellow circular glow on the ground in front of it.

パワー
半導体

結晶と光で社会に貢献する Crystal Miracles by OXIDE

A smartphone with a colorful screen displaying various icons.

ディスプレイ

A close-up of a car's dashboard and steering wheel with illuminated gauges and a speedometer.

自動運転

A hand holding a smartphone with various icons (Wi-Fi, 5G, cloud, etc.) floating around it, representing a network or data flow.

5G